坐右書　三

藥坂依田家財學堂文庫

和書門
類
二五〇八八號
九六函
三架
七冊

内閣文庫
和書
類
二五〇八八號
七冊
一五四函
一四架

内閣文庫
番號 和 25088
冊數 7(3)
函號 154 195

国立公文書館
National Archives of Japan

坐右書巻第三

目録

大的
半的
百手的
小的
闇的
奉射
三的
草鹿
圓物
武利武利

○一 大的　法量物云大的事的ノ勢五尺二寸的ト串十ノ圍三方八寸下六寸的場ノ遠サ弓杖三十三杖ニ打テ三十二杖ニ可立横串（タカバカリノ定之下ニ記ス）七尺六寸肉ノリ六尺八寸立串土ヨリ上六尺六寸串ノフトサ口（タテ）二寸的ノ繪小マナコ二尺七寸繪三寸五分二寸五分二寸口傳有之セビノ長サ二寸五分

一 麗的聞書云的アヒ三十三杖ニ打ツヽムルト申ハシカト打ツムルヲ申ス又杖ノカザリト申事有打テ行ニ此宛打タルヲ弓ホコノ内ヘ歩ツヽ本筈ヲツキ入テ打テ行ハ的アヒ近ク成ヘシ杖ノカザリト申ハ此事也秘説ニイツレモハヅシ弓ニテノ打ヘシ口傳ニ有ヘシ濃

一 紂御持長記云数ツカノ事高サ一尺二寸前ト後トノ間弓杖一杖後ノ数塚一尺五寸的ノ方ヘ可出也前ノ数塚ノ

挟物

挟物品々

己上

日本政府圖書
栗坂依田家學文庫

中ニ石ヲ一ツ入之数塚コボシテ後ニ弓石(ユセキ)トテ射手ノ可立
トヲリニヲク之 貞丈云猶又数塚ノ部別ニアリ見合ヘシ

一 闡的聞書云矢取モ矢マハシスル者モ的ノ後ノ方ニ在ヘシ
同サイハイ振ル者モ後ニ在ヘシ 濃 貞丈云矢マハシハ矢マワシ之矢申ト書之夜ニ入テ中リ外レヲ申役人ナリ

一 射御持長記云矢取ハ的ノ後ニ可居サイハイ振モ後ニ可居

一 岡本記云的ニ一目ツカフト申事ハ前ナル射手ノイハテヽカ
シコマリタルヲ一目見テウチアケル其見ル目ノ事之

一 又云同法度ノ目トイフ事モ此一目ツカフモ法度ノ目ノ内
ナリ法度ノ目トハ定リタル目ツカヒノ事之 別テノ口傳之

一 又云カチタチニヨソメツカフト申事ハ陰ナドノ切レテモ
取程ラ井ニ餘リテノ取ニ行レヌ時ハソノ[illegible]ヨソメヲツ
カフテツノ物ヲトラヌ事之 オ一ノ覚悟秘ヘシ猶口傳有之

一 射御持長記云大的ニモアタル矢トイフ共弓ヨハクテ矢ト
ヒカヘリ又タチタリ共矢取モトラス先ニ落ヌレハハヅシ成ヘ
シ秘事之

一 高忠聞書云御的ノ日記ニモ弓場始射手ト書ナリ
貞丈云射手事ト事ノ字書サルヿヲ云

一 闡的聞書云大的ノセミノ付様ノ事 セミノ頭五分ハ
二ノ黒ニカヽルヘシ是ハカシラ之 二寸ハ尾ノ方ニテ的ノ
端ノ方ヘナルヘシ的ノ地ノ色ノコトク白クヌルヘシセ
ミノカシラヲ的ノコヽナコノ方ヘ成ヘシ尾ハハシヘナル
ヘシ頭五分ノキハヲ少キザミテ夫ヨリ的ニシカト東
ヘオナハニテ結付夫ヨリ綱ニ成ヘシ 蟬ノ長サ 二寸

五分之楯ミ付様共誘（コシラヘ）様ノ支口傳ニ有ヘシ　刑　此セミノ付
ヤウ近来ハカクノコトシ
本式ハ此ブンニテハナシ　濃列

一　闇的闻昏云大的ノ繪ノ事　中ノ黒ヲハコヽナコノ黒
ト申之其上ヲバ二ノ黒ト申ヘシ端ノヲハ山形ノ黒
ト申之一ノ黒三ノ黒ナトヽハ申サヌ物之二ノ黒トハ中

一　ノ黒ヲ申之　中略セミノ長サ二寸五分尾ノ方ハ此黒
ニカヽルヘシ頭ハ的ノ地ノコトク白クスヘシ　濃

一　又云大的ノ肚アカシタク（焼）在所ノ了前ノ的串ノ通
リヨリ弓杖一杖ニホテ夫ヨリ杖半（ナカ）裎前ノソバヘ
ノケテ焼ベシ亦的場中ニモ全（ミシ）中ニ的ノ通ニ焼ヘシ

一　同弓立ノ方ニモ前ノ数塚ノ根ヨリ弓杖一杖ニ
ホテ夫ヨリ杖中前ノソバヘヨセテ焼ヘシ是本式
ノアカシタク在所之又爪ニヨリ的ノ方ノ後ニ焼ヘシ
是ハ略義之本式ハ如此之杖半（ナカ）内外ノ事ハ見ハカ
ラヒレヘシ弓立ノ方的ノ方ニタクシ的（前）ノ通リ全（ミシ）
中ニモタクシ三所也濃列重テ此分口傳申レ　濃

一　又云大的ノ射手ノ射様ノ事三ツ（番）ガヒニテノ三度弓
ノ肚ハ始ハ前カラ射之二度目ハ後カラ先射ルハヤ（甲矢）ニ
シ（失）ナアレハ射手畏ルヘシ前ノ射手ニシナアレハ後
ノ射手サヤウニスヘシ同弓ヲモ持カヘレハヽ其肚

一　同様ニ立レヘシ二度メニハ後ノ射手シナアラハ前
ノ射手ハ（射）イテ可畏三度目ハ前カラ可射又三ツガヒ
ニテノ五度射ルヿアリ其時モ始ハ前カラ可射レ二
度メハウシロカラ射ル三度メハ前カラ可射レシナ

ノ旼モ同前ニ搥テシナノ旼　射手カシコマルト申ハ甲矢ノ旼ノ事之乙矢ノ旼モイマタ射ヌサキニ不慮ナルシナアレハシナノ様ニヨリテ相手モカシコマルヿ有猶々口傳ニ有ヘシ濃

一又云御的ノ旼乙矢御免ト申事　有五ツガヒノ御的ノ旼弓太郎五度目ノ甲矢マデ射当テ乙矢バカリニナリテ御免ト有事アリ又ハコナタカラ申テノ御免アルヿモ有ヘシ乙矢御免ト申事ハ弓太郎ニ限テノ事也但五度メノ後ノ搥ノ射手ヨリハヨキ射手ニテ又ハ弓太郎ヲモ射レヘキ程ノ人ニテモアラハ是モ五度メノ甲矢マテツメテノ残リタル旼乙矢ヲ御免有事有又コナタカラ申テノ御免アルヿモ有ヘシ是ハ五度メノウシロノ射手ノヿ之カヤウニ御免アルヿハ両人ナラテハアルマシキヿ之秘事ノ事之三ツガヒニテモ此心得ニテ有ヘシコナタカラ訴訟申テノ御免有ヿモ有サヤウノ旼ハ甲矢ヲ射テ後肩ヲ入ルメイハイヲシテ数塚ヘ帰テサテ乙矢御免ノ事申様ニ共ニ口傳アリ公方様ヨリ思召ヨリテ御免ノ旼ハ不及是非ニ秘説ニヲシ渡シテ乙矢御免トアルヿハ弓太郎斗ノヿ之今一人ノ事ハ人ノ存知ナキ物ナリ返々何モ秘説ニ濃

一又云大的ノ旼板ツキサキ的ノ裏ヘチトモヌケハ矢取後ヨリ引ヌクヘシアタルトモ前カラヌカバハヅレナルヘシセメニ立矢口傳有ヘシ濃

濃列モ如此口傳

俊

一 又云大的ヲハ先カクル所本式ハ前後ノ串ニ横ニ綱ヲ
ハリテ夫ニ的ノ端ヲユヒ付ル之上ノ綱ヲ横串ニユヒ
ル之是本式ノ事之 刑
一 又云今ノ御的始装束ハ頼朝ノ御代鎌倉ニテ日ヒ
垸飯(ワウハン)ノ装束之ソレヲ今ニ御的ノ装束ニ被用タル之
スイカン立烏帽子ニテ有葛袴也 兵
一 又云的アグルト申事有是ハ本式ニハ申マジキ事之
唯的ドレナト、申ベシ又的アグルト申テモ不苦ル
トレナド、ハイカニモ申ヘシ又的トリオケト申人有
是ハ大キニ申マジキ事之 刑
一 又云御的ノトキ松明(シヤウメイ)ヲトボス事有的ノカタ其
外タキ所ニハ皆アカシヲタク之弓立ノ方ニハセウ
メイヲトボス之夫ハ朝夕(チヤウシヤク)ガ持テトボス之タイマツヲ此
所ハシヤウメイト申之アカシモチヤウジヤクガタク
ナリカヤウノ事ハ条々口伝ニ有ベシ 刑
一 又云大的ノアタリハヅレノ事 先大的ハ鳴(ナル)ガ本之的ノ
端成共当リナトモ的ニ當タル跡モアラハ当リ之
タトヒ中ニ当ル共矢ヌケテノ前ニヲチバハヅレ之但大的
ナルガ本ナル間アタリテヌケタルモオトガ本ナル間
前ヘ落タリ共当リ成ベシセミニ当テ矢落ルヿ有
夫モ根本ハハヅレニ定タル之近来ハナルガ本ナル間当リニ
被定ナリ又セミニ矢ノ立テ有時ハ矢取ノ故実ニテ
セミニ立タル矢ヲ見エヌ様ニソト〳〵ヌキテセミノソバ
カラ裏ヘツキトヲシテ裏カラ矢ヲヌキテノ取ベシ

是ハ当リニ拵テ的ニ矢ノカヽリタル所ハ的ノ後カラ引ヌ
キテ取ヘシ的ノ前カラ矢ヲ取ハ当リタリ𪜈ハヅレ
成ヘシカヤウノ事𪜈矢取ニ心得サセルヘキヿ也如此
心得ノ事秘説ニ口傳ニ猶々有ヘシ

一又云的ノ見様ノ事足踏ヲシテ小足ヲフミ出シサ（テ足フミ）
マニ的ヲ見ル所ハ遠ミト見ヘシ扨足ヲフミハダケ肩
ヌキサマニ的ヲキツト見ヘシ矢ヲツガヒテ扨的ヲミル
所ハ子タ〱ト見ヘシ是ハ故実之刑

一又云御的ノ時シテ（矢シテトヨムアヤニテノヿ）ノタイハイノ事前ノ射手弓ニ
テモ矢ニテモシテ有テハダヌギヲ入ズシテ其マヽア
ユミ寄テ取所後ノ射手矢構シテアラバ其矢ヲ
サシハヅシテ矢ヲ右ノ手ニ持弓ヲハ左ニ持テ足フミ
セヌ先ノ様ニ持テ足ヲハヒカズシテ其マヽニテアルヘシ前
ノ射手弓ニテモ矢ニテモトリテ又帰テ足フミヲシテ
矢構スル所同様ニ後ノ射手モ構ヲスヘシ又シテノトキ
弓ニテモ矢ニテモ遠クウチアケヌ先ニ引ハグラカシテ
ハ子ラレテ行所三足過ハ肩ヌキヲ入テ其射手我ト行
テ取ヘシ其所ハ後ノ射手モサシハズシテハダヌキヲ入
テ足ヲハヒカズ數塚ヘ帰畏テ前ノ射手ヲ待ヘシ矢
ニテモ弓ニテモ取テ足フミヲセハ同様ニ後ノ射手モ
立テ見合前ノ如クニ足フミタイハイヲスヘシ又後ノシテ
ノ所モ前ノ射手カヤウニスヘシ前後同前也相手シテ
アレバ射テ畏ト申ハ矢ヲアゲナドシテ引オロシサマニ引
ハグラカス事有ヘシソレハハヤ射タルウチニ成ヘシ射手

ノ不運ノ事ニカヤウノ𪜈ハ相手シテアレハ射テ畏
ト申ニサヤウニアレハ相手ハ唯射テ畏ヘシ前後同前
ナリ是祢ノシテ何モ〳〵同事ニ猶〻口傳有ヘシ

一又云御的ノ時シテノタイハイノ吏弓トリ落ス𪜈足モト
ヘ落バ其侭取ヘシ三足マテノハハダヌギヲ入ズシテ其侭アユ
ミテ取テ本ノゴトク立テ射ヘシ乙矢ノ時ナラハ其侭立テ
ハタヌギヲ入テ常ノ如ク帰ヘシ三足過バハダヌギヲ入テ
足ヲ川ソロヘテイク足モ歩ミ寄テ取テ数塚ノ外ヲ
廻テ本ノ如ク数塚ニ畏テ又相手ト又立アヒテノタイハ
イシテノ射ヘシ弦キレタル𪜈ハ弓ニ取ソヘラルヽ程ナラハ取
ソヘベシ上ヨリキレテトリソヘラレズハ其侭弓ヲ立テタイ
ハイヲシテ数塚ニ帰テ張替ヲ取ヘシ介添弓ノ持様
取カヘテ弓ヲハ張弓ノ如ニ持ヘシ射手モ弦切タル弓ヲ
持𪜈ハ張弓ノ如ニ持ヘシ弓ノカヘリタル𪜈モ持様同前ニ

一又云弓ノ折タル𪜈モ弓ヲ立ル程ナラハ立テタイハイス
ヘシ短ク折レテタヽレヌ𪜈ハ其マヽ下ニ置テタイハイシテ
張替ヲ出スヲ取ヘシ介添折タル弓ヲ取ヘシ濃

射而(イテ)カシコマル
不レ射(ズイ)カシコマル

一又云相手シテアレバ射テ畏ル(射而カシコマルニ)トイフハ甲矢ニテモ乙矢ニテモ相
手射タラバ我モ射テカシコマルベシイマダ射ヌ先ニシテアラハ
矢ヲサシハヅシテノタイハイヲシテモトノ如ク可畏(不射シテカシコマルニ)相手ノ張
替ニテモカヘ矢ニテモ取ヲ待テ立合テ射ヘシ相手ノハダ
ヌギヲ入ズ其マヽ射直ス儀ナラバ我モ其侭矢構ノ矢ヲサ
シハヅシ相手矢ヲツガフ𪜈同ツガヒテ射ベシ条〻口傳ニ有
ヘシ濃

一又云御的ノ時間ノ事遠サ鹿苑院殿様始ツ方ハ三十三杖之
其後ハ廿七杖ニナサレテ又其後廿三杖ニナサレ今ハ此分之濃

一又云的場ノ遠サノ事本式昔ハ三十三杖ニ於テ三十二杖ニ串
ヲ立ル本之公方様ノ御的廿五杖ニテ鹿苑院殿様御眼此
方ニテアリ當坐ニオイテ廿五杖近キトテ二杖ノケサセラレ
テ廿七杖ニナサレ候之亦三條ノ御所ニテハ二十一杖ニテ射サセ
ラレタル事モ有又近年ハ廿三杖ニ於テ廿二杖ニ串ヲ立タル之
イマニ廿三杖之

一又云御的ノ眼日記付奉行ノアルヘキ在所ハ前ノ方ノ弓立
ヨリ猶後之スミカケテ坐スヘシ敷皮シクヘシ圓坐ヲモ敷
ベシ但主ニヨルベシ敷皮モ白毛ノ方左ヘナシテ敷ヘシセハ
ル事モ左ノ足ヲ始メクシカミノ方ヲマハルベシ是本式之

一又云カヘ矢ノ事的矢ハイタツキノ方ヲ取神頭ハジンド
ウノ方ヲ取右ノ袖ノ下ニ例式ノ如ク持テ左ノヒザヲツ
キテ損ジタル矢ニ取カヘテマハラズシテ唯帰ルヘシ濃

草鹿丸物ニ用

一又云矢ノシテノ眼カイソヘノ眼儀ノ事射付ノフシヨリ
下ヲ矢ヲタバサミタル眼ノ如クニ持テ射手ノ右ノ方ヘ
ヨリ畏テ右ノヒザヲツキテノ左ノ手ニテ射手ノ袖ヲ持
上テ下ヨリ矢ヲ出スベシ損ジタル矢ヲ今ノ如クタバサミ
テヒザヲ直シテノ左ノ手ヲツキテ左ノ方ヘ帰ルヘシ前後
円前猶々口傳ニ有ヘシ濃

一又云御的ノ介添役ノ次第ノ中ニ弓ト敷皮左ノ役之皆ト
矢取ハ右ノ役之先右ノカイソヘ皆出ス其後左ノカイソヘ
弓ヲ出ス次ニ右矢ヲ出ス次ニ左敷皮ヲ出ス一ハテヽ介添

的射ハテヽ之

ヨリ取所ハ左ノカイツヘ先敷皮ヲ取之次ニ右ノカイツヘ
矢ヲ取之次ニ左弓ヲ取次ニ右皆ヲ取ルヘシ　刑
一　又云彼人ニ皆出ス中間皆ノ臯ヲ先ヘナシテ持ヲ其
侭カイツヘニ出ス又其侭取テ臯ヲ我前ニナシテ射手
ノハク様ニ持テ其侭射手ニハカセ申ヘシカイツヘ廏原心
得ヘキ事之　刑
一　又云弓出ス様中間ノカタゲタル弓ヲカイツヘノ若党
取テ弦ノホヽケヲナヲシテノニギリノ上下トヲ取テ弦ヲ外
ラツムケテ射手ノ左ヘヨリテ出スヘシ射手ノ袖ヲ打カク
ル様ニ出スヘシ是モ介添ノ廏原心得ヘキ事之
一　介添ノ廏原矢ヲ出ス様中間ノ持タル矢筒ヲ取リテ
タヲアケ当日ノ矢ヲ取出シテ羽ヲ鈷々直シテ扱付ヲ

見テ扱射手ノ右ノ方射手ニ立向テ右ノ手ニテハ扱付
ヲ取左ノ手ニテハ右ノ手ノ上五六寸上ヲ取羽ノ方ヲ
射手ノ方ヘ出ス射手拳ヲウツムケテ取テ其侭弓
持タル手ニ取グシ扱甲矢乙矢ヲ見分テ乙矢ヲ扱付ヲ
ユガケノ穴ヘ入テ矢ヲタハサミテ持ヘシ是本式ノ矢ノ
出シ様之又左ノ方カラ矢ヲ出ス所ハ弓ノ上ヨリ今ノ
如クニ矢ヲ持テ羽ノ方射手ノ前ヘ成様ニ出ス取様以
前ノ如ク取テ弓持タル手ニ取グシテユガケアナヘ乙矢
ヲ入扱矢ヲタバサムヘシ是ハ所モセハクテ射手ノ前ノ方
ナドヘマハリニクキ所左ノ方カラ出ス所此分出スヘシ
是介添ノ者心得ヘキ事也　刑
一　又云敷皮持中間射手ノ持如クセカリノ方ヲ右ヘ

ナシテ白毛ヲ先ヘナシテ持ヲカイソヘ其假取テ白毛ヲ我前ニナシセオリノ方ヲ我左ニナシテ射手ニ出スヘシ是介添ノ者ノ心得ヘキ事也 侍モ如此口傳 刑

一 又云矢ノシナ（矢）ノ所カイソヘノ者タイハイノ事射手数塚ヘ帰テ矢ヲ持所介添カヘ矢ヲ右ノ手ニタバサミテ射手ノ右ノキハヘアユミヨリ畏リテ右ノヒザヲツキ左ノ手ニテ射手ノ袖ヲ持上テ替矢ヲマイラセ損シタル矢ヲ取左ノ手ヲツキ内左ヘ帰ルヘシ条々口傳ニ有ヘシ 侍モ如此口傳 刑

一 又云的ノ所ヘハグラカシタル矢ノ事場中迄ハハダヌキヲ入テ我ト行テ其矢ヲ取ヘシ又足踏ヲシテノ射べシ場中過ハ射手不運也矢ヲハ矢取トルヘシ射手本坐ニ帰テ矢取矢ヲ出スベシ 侍モ如此口傳 濃 イ刑

一 又云射ハテヽハ敷皮ノ上ニテヒホヲ結テ扇タヽウ紙ヲ取テタヽウ紙ヲ先フトコロヘ入テ次ニ扇ヲサス也サテ矢ヲ取ヘシ奉行ノ中ヨリ朝夕（テウジヤク）ヲ以テ銀剣ニ参ルヘキ由左右ヲ申所皆ヲハキ参ヘシ残ノ射手モ次第〳〵ニ参ヘシ委口傳ニ有ヘシ 侍モ如此口傳 刑

一 又云射手ノ銀剣給様ノ事 御所様ノ御方ヘ弓ノウラハズムカヌ様ニ弓ヲナヲシテクツヌギノ下ニテ皆ヲヌギ上ヘアガリテ先畏ツト御前ノ方ヲ見マイラセテ右ノヒザヲツキテ矢ヲ腰ニサシモトノ如ク（左ニ）ヒザヲ立シテ銀剣ヲ持テ寄ル所立テ二足三足アユミ向テ又畏テアル所弓ノ上ヨリツカノ方ヲ出スヲ帯トリノ両方ノアシノ中ヘ手ヲノアヲノケ入テ取右ノ脇ヘ太刀ヲ立シツカノ方

ヲ前ニナシテ御前ノ方ヲフカク拝シ申テ右ノ方ヘ帰
テクツヌギヘヲリ以前皆ヌギタル所ニテハキテ帰テ
又敷皮ノ上ニナヲリ皆ヲヌグヘシ扨相手ヲ待ベシ相手
敷皮ニナヲリテ同様ニ皆ヲハキテ敷皮ヲタヽミテ御
門ヘ出ル之委口傳ニ在ヘシ 但モ如此口傳 刑

一 又云数ツカノ有時対手ノ立様ノ事カズツカト三ガナ
ワニ立ヘシ弓ヲハ数ヅカノ根ニ立ル之如右ノ方ヘヨセテ
陰ノ方ヲハ的ノ方ヘムケテ可立ル 濃

一 又云大的ハ板ヲウスクヘギテ廣サ一寸斗ニシテヒガキ
ヲクミテソレヲ五尺二寸ニ丸クスベシ如斯シテアツ紙ニテ
二重斗ニハリテ其上ニコノリヲ川之カヤウニシテ繪ヲ
出スベシ

一 又云大的ノセミノ長サハ二寸五分カシラハ五分（一寸九）ハ白ク的ノ
地ノ色タルヘシ尾ノ方二寸ヲハ黒クスヘシ黒キ方ハ二ノクロ
コマナコノ方ヘムクヘシ又云セミノ付様是本式之又頭ヲ
黒クシテ尾ノ方白クスル事モ有是ハイハレヌ事之如
斯スマジキ事之本式的カクルハ串ニ先横ニ綱ヲハリテ扨
下二方ノセミヨリ通シタル綱ヲ横綱ニムスビ付之上ノ
綱ハセミヨリ通シタル綱ヲ横串ニユヒ付テカケル之如
斯本式之又ハ横綱ヲハリタテ唯セミヨリ川トヲシタル
綱ヲ両方ノ串ニ結テカケル事モ有是ハ略義ナリ

一 又云的ノ肚（ツツ立之宮和ヵ一之）ツンタチノ事ヲサシテ（出）ノ甲矢トモサシ出
ノ乙矢トモサシ出ノ一手トモ申之ツンタチトモ申ナリ
サシ出トモ申之ツンダチ一手ノ事之）先ヽ大的ニモ申ヘシ本之

楊弓

一 又云一子コツラト申ハ大的小的ニ限テ申ヘキ事之余ノ英ニハ申マシキ事之人顔見ユル見エヌ所分之 濃

ユフグレノ一ニウスグラキ所ヲ云

一 又云御的ノ所俄ニ相手サシアヒ有テ一人射ル所ハ後ノ射手ナリトモ前ノ方ニ坐スヘシタイハイヒトリ弓ニテ有ヘシ西方ノカズツカノ間ヘトヲリ畏ヘシ前ノ数塚ヲ廻リテ扱串ノホト少的ニスヂカヘテ可畏ハ少御前ノ方ヘムク心有ヘシ前ノ射手ナラハ是非ニ及ハズ前ニテノ有ヘシ例式フミヨリ足ハ中ノタイハイニテ有ヘシヒトリ弓ノタイハイトテ帰ル足秘説ノ事之例式ハ前ノ足ヨリ引揃ヘ後モ引ツロヘテ其侭後ヘフミテシサル之但本式足フミ口傳ノ事之 彼モ如此口傳 濃

一 又云御的ノ所イマタ末ノ上引オロシハテ末ノ上サマニ不慮ニラント引ハグラカス事有的場中マテハ肩ヲ入テ其射手アユミヨリテ其矢ヲ取テ持様ハ以前ノ如ク矢ヲタバサムヘシ弓ヲモ以前ノ如クニ持ヘシ数ヅカヘ帰リ畏テタイハイヲシテ射ヘシ此所ハハタスギヲ入テ足ヲ引クツロゲテサテ歩ミ寄矢ヲ取ヘシ是ハ三足過ハ的場中迄ハ此分タルヘシ縦不慮ニ引ハグラカシタルトモ的場中迄ハ取ヘシソレ過ハハヅレタル内ニテ有ヘシ其矢ヲハ矢取トルヘシ本坐ニ帰テ矢ヲ出スヘシ 濃

一 又云シチノタイハイハ甲矢ノ所ノ事之乙矢ノ所ハ射テ畏間不及是非也猶ゝ口傳ニ有ヘシ 刑

一 又云的射ル所矢ノ筈ニテモカケ羽モキレタラハサシハヅシテ数ツカニ帰リ替矢ヲ取テ射ヘシ若扱付ユガケナドニ

トマルヿ有ヘシソレハ其侭射ヘシ些オシツメテ射ル心アルベシ 刑

一 又云御的ノ昿門オロシサマニ弓ノオレサウニテムクメク事有ヘシ其昿サシユルシテ矢ヲサシハウシテ肩ヲ入数塚ニ帰テ張替ヲ取テ射ヘシハヤ門付テヒカユル内ナリモイマタハナサヾル間ハサシユルシテ替弓ヲ取テ射ヘシ是ハシナハ内ノタイハイニテハ一段秘説ノ儀之秘スヘシ〳〵 刑

一 又云御的ノ時矢取ハ矢筒持ノ中间矢ヲ取ヘシ

一 又云的矢ノ矢ヅカハ板付ノカサノスゲキハ迫シカト门テ放ヘシ

一 又云筈ノシナノ事乙矢ニテモ甲矢ニテモ筈カケ又ハトリスク事モ有ヘシタイハイヲシカヘリテノ替矢ヲ取テ射ヘシ

一 又云矢ヲツカフルニハズノサキヲトリテサキヘツキヤル様ニツカフル事ハイム事也只ノ昿モハズヲトリ人ノ方ナドヘツキヤルヿスマジキ事也 濃州モ如此義 心添 伎

一 扇鏡云中ニ立ツ足フミハ前弓ノコトク之

一 又云京極家ニハ的ニ初ヨリ敷皮シク之

一 高忠聞書別記云ヒトリ弓ノタイハイノ事的ニ向ヒ些メテヲヒラキ少スヂカイサマニ畏テ前弓ノコトク紐ヲ納メ左ヨリフミ出シ何事モ前弓ノ如クシテ射果テ左ノ足ヨリ引ヨクフミツロヘ又左ヨリフミ出シ扨右ヲ踏出シ其アシヨリウシロムキニモトノ坐敷ニ畏之大人ノ前ニテノモ是之外ニハ有ヘカラスト之闡的ノ多クキナラヒタル中ノ射手ハ此ヒトリ弓ノ心ナルヘシ前後ハ二弓ノタイハイナルヘシ 一矢丈云中弓ノ体トモ云モ此事之 鈴体

一 又云御的ノ貼射手ノ坐敷上リ(アロ)下リ(サカ)ノ事 一番弓太郎其（三ツヲヒラヲ以テ云）
次（セキノ前之）三度メノ前弓其後弓太郎ノ後 其後二ト(ノ)前弓（セキノウシロ之）三度メ
ノ後弓（以上四ノ角(カト)ト云）其後二度メノウシロ弓之 二度メノ後弓ハ必ハシメテ
マイリニ立之 又云 始テマイリニ立トハ当年初系ノ射手ノ立所ナリ

一 又云百手ノ前弓ヲ弓太郎トイフマシキ之 以下弓太郎ノ事百手ノ部ニ記ス畧之

一 又云乙矢御免ノ事 弓太郎ニ限タル事之ヨノ射手ニハ有
マジキ事之

一 又云御的ノ貼録給ル事 五色 御太刀御刀御衣扇鎧此
外有間敷哉ト申 貼如此御返事アリ 御的ノ貼ノ録ハ
五色ナラテハ有間敷ヨシ御返事兼之

一 又云御的ノ貼ミナ無(ム)スル事アル貼日記ノツケヤウ只ソ
ノマヽ置ヘシ此外ハヤウナシト仰ト

一 弓馬故実云弓場ニ可立様ノ事 御的ノ貼ハ公方様ヨリ次
第ヲ被仰出ル間ソレニ随フヘシ常ノ貼ハ鬮ヲモ取リ又ハ
其貼ノ主人貴人ノ下知ニヨリテ立ヘシ

一 又云射手ヲセンズルトコトハ射手ヲアマタアツメテソノ中ニヨ
キ射手ヲエリ出スヲ云之 又云センズルハ撰ノ字之エラムトヨム字ナリ

一 又云的ソロヘトコト射手ノ善悪ヲ見ヘキ為ニ大勢揃ヘテ
射サスルヲ云之 二ケ條ナガラ秘事之

一 又云乙矢御免ト云事是ハ御所的ノ貼ノ事之 五度弓ノ貼
九ツ射中(アテ)テ残ル乙矢ヲ御免有ヲ云之 三度弓ニモ五ツ中リ
タル貼ノ事之 但弓太郎 セキノウシロニ限リタル事之 弓太
郎ハアナタヨリ御免アリセキノウシロハコナタヨリ申テ
御免アル之

一 又云御的恩賞ト云事 ツヾ三ヶ年参勤十ヶ年ニテトモニ恩賞ヲ蒙ルニ是ヲ参勤ノ労ト云也 矢文云是ハ正月十七日御弓場ノ御的ニ三ヶ年ホツヽキテナヲシタル人ト又十ヶ年ホツヽキテ御弓場始ノ射手ヲツトメタル人ニハ御恩賞ヲ給ルニ或ハ官位ヲスヽメ或ハ所領ヲ増シ給ル類ニ労ト云ハホ子オリヲシタルヲ云ナリ
○右的出張記曰之射礼私記曰之

一 又云射手ノ立所高下ノ事 一番弓太郎 二セキノ前 三弓太郎ノウシロ 四セキノウシロ是之

一 的出張記云 録ノ事 文治ノ御的ニハ下河辺庄司 御刀白サヤ巻ヲ被下之一流ノ御的ニハ細川源蔵人御衣カツケラル建武ノ御的ニハ小笠原六郎 御鎧ヲ給ル又先代ノ時ハ扇ヲ出サレタル例モ有

一 又云数塚ノ高サ一尺二寸カ子ノ定成ヘシ前ト後トノ間弓杖一杖ハヅシ弓ノ定ニホノテ後ノ数塚ヲ一尺五寸的ノ方ヘ寄スル之 猶数塚ノ部ニクワシク見タリ

一 又云摺弓ノ礼ノ事 数塚二ツノ中ニ的ノ方ヘ向ヒ少御前ニ対シテ畏ヘシ又的ノ方ヘ向テ畏事モ有足フミハ左足ヨリ踏ヨリテ同左足ヲ的ニムケテ後右ノ足ヨリフミ定ムヘシ射終テ引足ノ事大方前弓ノ様ニ引テ帰ルナリ是ハ射ヒテ畏之

一 又云乙矢御免ノ由被仰出時ハハダヌギヲ入畏テ傾テ矢ヲ股ニサス之扨敷皮ニ直リテ片矢ヲ取テ同ク腰ニサシツヘテ御前ニ参テ録ヲ給ヘシ

一 又云射手ノ立所ノ事 一番ニ弓太郎 二番ニセキノ前 三番ニ弓太郎ノウシロ 四番ニセキノ後是ヲ四ツノカドヽ云之立所ノ高下ハ参次第之年紀ニヨツテ被定之雖然時ニ当

テ殊ナル上意ニトハ各別之サレハ人体ニヨリ嵩用ニツイテノ
被仰出先例モ有此等ハ前縦ノカギリニアラズ

一 又云兄矢弟矢ニヨリテ矢ヲ射替ト云事外ムキヲ兄矢ニ
射内向ヲ弟矢ニ射ル之此吏秘説タル間タヤスク口傳ヲ被
免事ナシ先祖ニ才井テモ人ニユルス丁有ヘカラスト之

一 又云的場ニ出时ノ裝束ノ事 昔ハスイカン立烏帽子クズ
袴ヲ着タルト見ヘレ当世ノ出立様 折エボシ素襖袴着
ヘキ之着物ナドハ时ニシタガヒ衣裳不定レ的ニ出时ハ袷
ナドハ斟酌アルベクレ之冬ハ小袖アマタ着事有一ツ胸ニ
着ヘシ门違ノヘハキザル物ニテレ素襖ノ袖右ノ方ヲ系ニテノ
トヅル物ニテレ

一 上賢披云大的セミヲハ二ツ黒ニ可付カシラノ方的ノ中(イ本 カワ)ヘムク
ヘシ長サ二寸五分之フトサ定ラズセミヲ用ル子細アリ 貞丈云本文的ノカハ
トアルハ中ノ写誤ナルヘシ 大的ニハカワハナキ之

一 諸書当用披云弓場始之儀被仰出事毎年十月隂陽
頭(カミ)日次(ヒナミ)勘進申ス是舊例也近年日數迫而被仰出之間潔(ケツ)
斎(サイ)誓古等之儀一向無正躰者也 御教書ノ文言之吏
明春正月十七日弓場始之事
為弓太郎可被叅勤之由所被仰(小射手ノ時ハ為射手ト書之)
下也仍執達如件
年号月日 管領之官判形有之
某殿
右便朝夕(ナヤウジヤクハ政所ノ仕丁之)次郎左門之

一 又云弓太郎者毎年以御教書被仰出也後年者小射手者

一以短冊被仰出之由小笠原八郎（元清後任刑部少輔法名宗樹）参勤之処舎兄小笠原備前入道宗信（無官之処又六後任民部少輔政清）申事也屋代四郎政真（法名宗連）云備前申吏不可然弓太郎小村弟共ニ初参之処計御教書也於後年者以短冊被仰出也小笠原弥六政廣（後任刑部大輔法名宗霄）為弓太郎数ヶ年参勤也政廣常之坐敷壁ニ弓太郎被仰出短冊如色紙押置之慥ニ見来之由談之同心之輩多シ

をかさはらきやうふのたいふとの（マキニハ上ニケ様ニ書之）

明春正月十七日弓場始事　小笠原刑部大輔

為弓太郎可被参勤之由候也

年号月日　奉行名判無之

松田豊前守頼亮相傳之（始九郎任左衛門尉）

一又云正月十七日御弓場始小笠原別屋ニ居テ別火各々対手モ其通也唐ノ弓始十七日ニテハ間鹿苑院殿様御定被成ル于今ノ十七日也

一又云御的前之日如斯以折紙両奉行ヨリ相觸状之使ハ朝夕ニ合點シテノカヘス（矢丈云合点トハ我名ニテンヲカクルニ）

明日十七日弓場始之

事可為午刻以前

之由恐々謹言

正月十六日　貞通在判　諏訪信濃守

為規在判　飯尾左衛門尉

小笠原刑部少輔殿

佐竹彦三郎殿
毛利次郎殿
真下所七郎殿
彦部左京亮殿
廣戸次郎殿

一番
さゝけのいろゝのかゝ
ひこへのさこんのしやうけん

二番
すやまゝこ次郎
そゝのひやうこのすけ

三番
みやのかゝつけのすけ
かゝしのはしまのかゝ

如斯モ書之合点シテ廻スヘシ又下ニ奉トイフ字書テモツカハスヘシ

一 法量物異本云竪串ノスツヲヒログルヤウ横串ヲ土ニ置テ其横串ノ長ニヒロクルニ見餅分哉備前守方ハ上下スグニ立ル之

一 又云的ノ遠サ三十三杖ニホテノ三十二杖ニ立但当時御的間二十三杖斗也

一 又云的ノ繪出シ様 端ノ一ノ黒三寸二ノ黒二寸五分三ノ黒三寸五分間々ノ白ミハオノツカラ見ユヘシ

一 又云蝉ノ長サ二寸五分太サハ法量無之云云

一 又云的ノツリ縄ノ事 竪綱横綱以上三(二九)筋之 但十九ト云布ニテ青黒白三色ニシテ幕ノ手縄ノ如クスル之 又白黒二色ニテノモスル之

一 又云的掛ル役人ハ侍三人エホシカケヲシテ後ノ串 前ノ串横串ヲ置テ扱的ヲハ的ノ表ニテイダキ オコシテ下六寸ニシメ上テ綱ヲ 納ル之

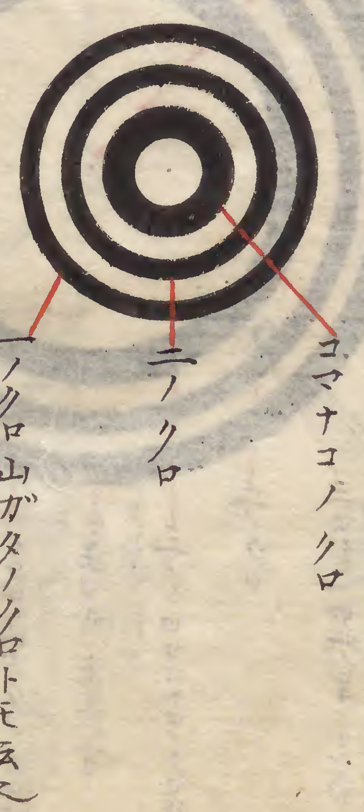
一 弓法私書云 弓場ト申トモ 弓立(ユンタテ)ト申テモ不苦ル同クハ立所ヲ弓立(ユンタテ)ト云ヘシ

一 弓法秘傳聞書云 夜的ニナリテ矢申ノ事 矢タケ前トモ後トモ可申ル 矢タケノ外ハ大前大後トモ可申ナリ 如此ノ时ハ的ツルハ略義之

一 又云敷皮ノ事 先中ヨリ竪ニ折ワレヲ二ツニ折レハ四ツ之

公方様御出無之間ハ各其上ニ居ル之 御出ノ後先ヲヒラキ後ヘシサリヒログル之 セドヲリノ方右ノカタニ成ル如ク持ヘシ毛ヲ外ニシテ居ル之

弓法私書
的之図



一 弓法私呑云 小的ト申ストテ大的ト申サヌ事之 カケスカシノ的トモ 又五尺二寸ノ的トモ 可申也 矢丈云 鎌倉此代迄小的無之足利殿ノ代ニ至テ小的出来タリ小的出来テ後大的ト云本ハタヾ的ト斗リ云シ之

弓馬三冊
的ノ図

貞文云三方的綱ノ結様此繪図ニテハワカラズ綱ヲ串ヘニマトヒマキテカノクヽシノコトクシテ綱ノムスヒアマリヲハワナヲワナヘ入レくシテミナムスヒヲユルクシテヲクヽ左右ノ綱ノハシハ串ノ外ニ結ヒテヲクナリ

此結様草鹿丸物何モ同前之

的ノ串ハヌラズ

貞文云此綱ニ三所ノ留ヤウワロシ此結余リ串ノ外ニアルヘシ左右同

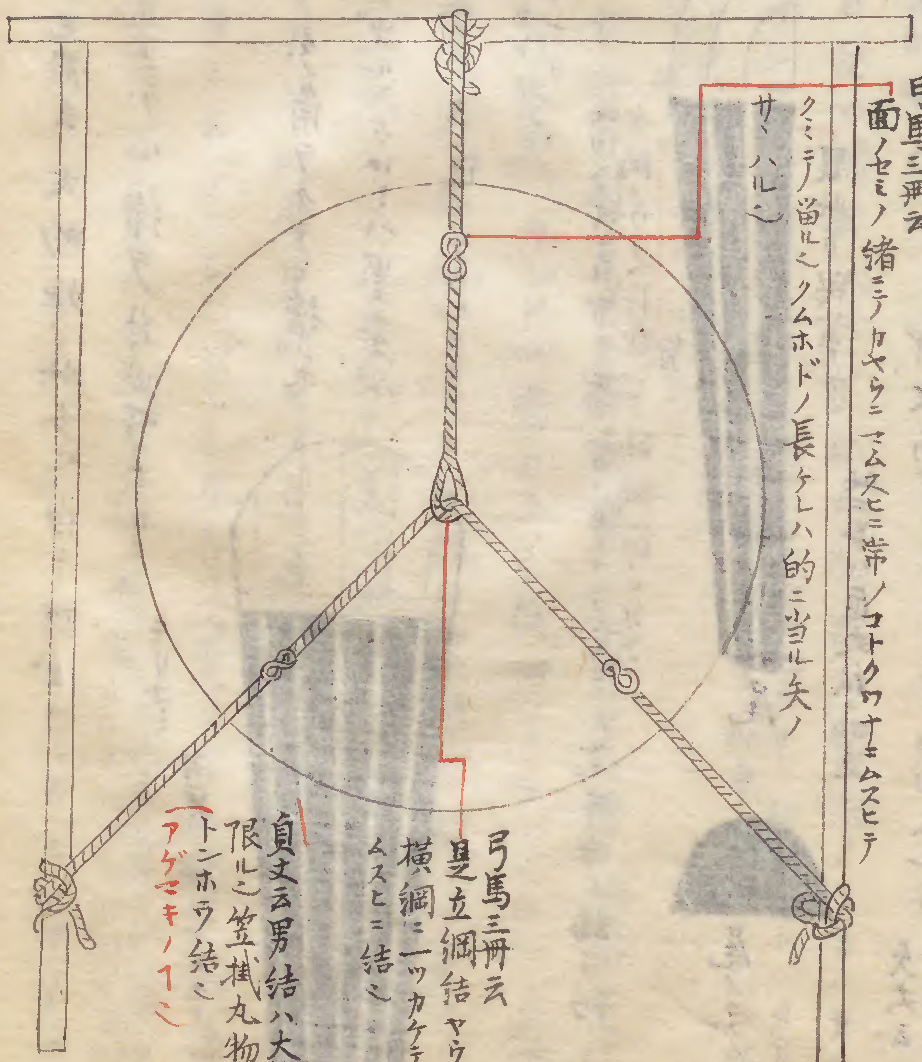
三セミ之如此白キ分ニ白ミヘ廻ル黒キ所ヘ二ノ黒白キ分タブニミユル玉花院殿御見物ニ有

丸物ノ綱ニ皆ヲ中ニテコシラユルナイヤウ同結三様御本ニ有之

ヨキ程ニスル半的同前之

十九布ヲ三筋ヨリ合丸物同前

弓馬三冊
的ノウラノ図

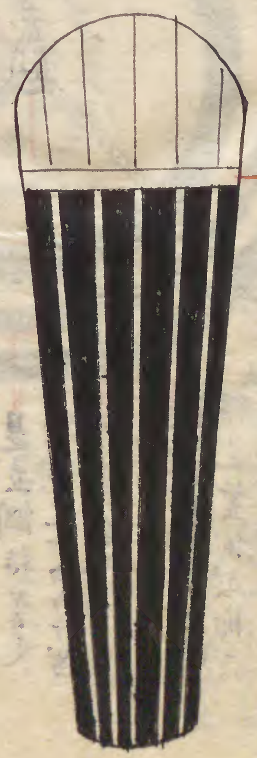


弓馬三冊云面ノセミノ緒ニテカヤウニマムスヒニ帯ノコトクワナニムスヒテクミテノ留ル之クムホドノ長サレハ的ニ当ル矢ノサヽハル之

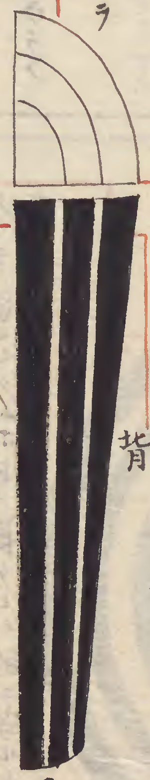
弓馬三冊云是立綱結ヤウ之横綱ニ一ツカケテ男ムスヒニ結之

貞文云男結ハ大的ニ限ル之笠掛丸物ニハトンホウ結之（アゲマキノイこ）

一 弓馬三冊云大的蝉此分之白キ所ゴフンヲヌルキリコミ
綱ヲカラクル緒ヲ付ル所ナリ
此筋ノ分角ヲタテヽ櫓ノ木
ニテケヅル之クロミハ墨ニヌリ
ヲキテヌリテ後ニケヅルナリ
貞丈云カドヲ
ケヅル事ナリ



弓馬三冊ニアルセミノ図



此切ハ所ニ麻緒ヲ掛テ背ノ方ニテマムスビニスル之其緒ノ端ヲ的ニアナヲア
ケ的ノウラヘ通シテ的ノ綱ニ結ヒ付ル之

此ニ図ハ貞丈私ニ加之

尾ノコグチノ形如此

一 笠掛聞書云今ハ御所的ハアタリヲクロムル之
貞丈云大的ノ
日記アタリヲ
黒クスルハ古義之カマクラ比代
ヨリ如此東鑑ニ見タリ

一 八廻日記口傳云大的笠掛丸物串ハ當流ノタカハカリノ
定メヨシ此タカハリ秘事也 貞丈云此タカハカリ秘事之トハタカハカリ
トス事ヲ秘事トスルナルヘシ其事ヲ
知サレハカ子ノ尺ニテ定ル之タカハカリト
云ハ竹尺之呉服モノサシノコトナリ

一 射礼私記云射手ノ立所ノ事一番弓太郎二番セキノ前
三番弓太郎ノウシロ四番セキノ後四ツノカドヽ云之立所ノ高
下ハ年次ノ年紀ニヨリテ被定之雖然時ニアタリテノ
事之上意ナトハ各別ノ義之サレハ人躰ニヨリ又ハ器用
ニツイテ被仰出先例モアリ是等ハ制ノ限ニアラサル之

一 小的事ニ云コブシハヅレシタルヲ其マヽニオミ上テ射事畧
義之サシハヅシテハメ直シテノ可射也 貞丈云此事小的ニカギリ
タルヿニアラズ何マトニテモ
オナシヿ之

一 弓馬故実云的ニ三度ノ目遣ヒト云事ハダヌギカケテ一度小笠ヲツカヒテ一度扱射サマニ見テ射ル是ニテ三度之

○一 半的 閫的聞書云半的ノ寸方ノ事二尺六寸 縿ノ出シ様ハ大的ノ如シセミノ長サハ的ニ随テ少ナヒサク有ヘシ大的ノ半分之

一 笠掛䩭韝并射手出立事ニ云半的ト云ヿ有ヘカラズ小的ニハ寸法ナシ但式ノヲ半的ニスル事有是ヲ口傳ノ的ト云之（矢丈云 式ノトハ式ノ的ヲ云之 式ノ的トハ大的ノ事ヲ云ナリ）

一 笠掛䩭韝記云 半的ト云事（以下ノ文右ニ曰シ口傳ノ的ト云 下ニ是無謂ノ三字アリ）

一 弓馬三冊云 半的ノ事略義之二尺六寸「カ子ノ定」細注 其謂ハ大的ノセイ五尺二寸之 其半分之縿ノ出シ様モ大的ノ半分ツヽニ可出是ヲ口傳ノ的ト云 但略義ノ物ナル间縿ヲモ程ニ見ハカラヒテ縿ヲモ可出セミハ大的ノヨリ少チイサクシテツケ様ナドモ大的ノ如ク可付 串ハ大的ノ串ニカク懸

ヘシ

○一百手的　射御拾遺抄云百手ノ的ノ日記書様端作ハ百手射手トハカリ書之年号日付ハ例式ノ如シタケ長キ紙ニ可書之射手ノ名ハ名字ニテモ官途ニテモカタ名ヲ一字ツヽ書之モシハ名乗ナドモアルヘシ其下ニ○○○○○○○○○○十如此下マテ付テツヾノ人ニハ十文字ヲ大ニ書之是ヲツヾトヨム之

一高忠聞書云百手ノ日記ニモ百手射手トハカリ書之私云射手事ト事ノ字ヲバカヽサル事ナリ

一闕的聞書云百手ノ矢代ノ振様ノ事十五人射手アラハ始ハ八人宛立テ射ヘシ揺テ十五人餘程ニ矢代ヲハ歩懸ハセズ一ツヾ並ヘテ置レ之後ノ射手ヲハ歩アヒヲシノケテ矢代ヲフリレヘシ日記ノ付様ハ片名ツヽ書テ一五度宛ニ矢数ヲ付

ヘシ始ノ射手モ後ノ射手モ同様ニ可書猶々口傳ニ有ヘシ　濃

一　又云百手ノ矢代フル所ハ弓太郎ナド射手ニテアラハ其人一ノ前ニ振ヘシ其所ハ矢代ヲマズル所能見シリテ別ニ振ヘシカヤウノ事ハ故実之　刑

一　又云同百手ノ所モ殊ニ矢ヲタハサムカラ子シラウ有ヘシ祈禱ナドノタメニテアラハ其主要領ヲ成就シテツヾクヘシト子シラウ有ヘシ秘説ノ心得之子シテノ事如此心得ノ事秘事之毎事ニ渡ル心得之御的ノ所モ殊以此心得秘事之　大中三月十日ニ口傳　刑

一　又云百手ノ立様ノ事射手十五人アラハ始ハ八人二番メハ七人立ルヘシカヤウニオトリテ立ルヘシ人数ノ丁ハイカホドモ所ヘケ様ニ後ハオトリテ立ヘシ　濃

一　又云百手ノ事人数ハイクタリ𪜈定ルマジキ之但大略ハ十三人十五人十七人ナド常ニ射ル之又ハ夫ヨリ多モ射ヘシ二弓立（フタユンダテ）ニ射之十三人ノ所モ始ノ射手ハ七人二弓立メハ六人如此立ヘシ夫ヲオヒテノ十五人十七人モ立ル之人数十人トモ十二人トモアラハ二ニ分テ立ルヘシ人数少キ所ハ一弓（ヒトユミ）立ニモ射ル之本式ハ一弓立（ダテ）𪜈二弓立𪜈ナキ事之先二弓立ニ立テ射ル事可然一度ニ立ロテ射ル所ハ射手草臥ル之矢数モナキ物之二弓立ニ大略射之矢代ハ始フリタルマデニテハツル迄置之

一　弓之記云数塚ノ前ニ昔ハ矢ヲサシ数ヲトル（矢丈云以下ノ文今略之数塚ノ部ニミルス）百手ノ的𪜈申百手射手歩射ノナラヒ之猶口傳

一　高忠聞書別記云百手ノ前弓ヲ弓太郎トハイフマジキ事之弓太

郎殿ト射ラレハ弓太郎ナルヘシヨノモノハ只前ユミト云

一 又云百手乙矢御免有事ナキ事ト仰ル

一 又云百手ノ日記ノ矢数ノ下ニ例式ノ時ハ百トイフ字ヲ可書ル一段ノ祈祷ノ時ハ百手ナトノ時又公方様ナト別テ御覧セラレルハンニ時ハ十字書ル

一 又云百手矢代フル事ナシ 矢丈云フルコナシトハフリ直スコナシトアルヘキヲ丈字書落シナルヘシ矢代ハ初フリタルマヽニテハツルマデオク之ト闡的聞書ニ見ヘタリ前ニ記ス

一 又云百手日記付事

　百手射手

名字一字我名一字カシラニ書テ下ニ丸ヲ五十ツヽ二トヲリニシテ十ツヽニテアイヲキリテ百スル之ハヅレヲクロムルナリコナタヨリ付ル之

名
○○○○○十○○○○○十○○○○○百
○○○○○十○○○○○十○○○○○

此時十ヅヽナラハ十文字ヲカクヘシハヅレナラハタヽイクツト付之

是ハアシキ之只百ト云字ヲ書頓テ十ツヽニテ其間ヲオク

一 弓法秘傳聞書云百手ノ日記ノ事ハツレノ矢ヲハクロク星ヲ付ヘシ

　百手射手　年号 月日　附年号ニモタオクニ年号云ナリ

宗○○○○○○○○○○十如此下マテ付テツヾノ人ニハ十文字ヲ大キニ書之十此字ヲツヾトヨミル故之官途ニテモ名乗ニテモ一字可書ル之

一 宗仁聞書云百手ノ時射手ノ立所ノアガリサガリノ事先大前ノ人上リ之二番後弓上リ之三番大前ノツギソレヨリハ次オノヽニサガリル之又大的カケテ矢フリルテ射ル時モアガリサガリ如此之

○一 小的 射御持長記云小的ノ繪出ヒ様ハ大的ノコトシ寸ハ定ルヘカラス

一 岡本記云小的ノガワニハ必繪ヲカク他流ニハカラ草ナトヲモカク又ヒシナトヲモ書ク当流ニハ唯ヒガキヲカク又ハミドリ松ヲモカク何レモ的ノ大小ニヨリテ三所五所ノ義アルヘシ条ニ口傳コレアリ

一 闈的聞書云小的ノハリ様ノ事 二重三重斗張タルガ当リ吉白鮎ニ的ガワニ檜垣ヲ書ハ組タル故ニ如此繪ヲ書ニ 貞丈云 組タル故ニトハ大的ハヒノ木ノウス板ヲホソクワリテヒガキノゴトクニ組テノ帋ニテハルニ此大的ヲカタドリテノ小的ノガワニヒガキヲ云ト云ヿナリ

一 其貼ハ的ヲクムトハ申マシキ事ニ 貞丈云小的大ナルニチイサキヲ入子ニスルヿヲ組ムトハイワヌニ 的ヲ入ルヽナトヽ申ニ小的ノ裏ニ鬼ト云文字ハカクマジキニ書タルモクルシカラズ 彼モ如此兼ヽ濃

一 又云小的ヲ串ニハサム所ハガワノマゲタルトヂメノ上ヲ串ニハサムヘシ串ノ方上ニ成様ニ立ルヘシ 心源 伝

一 射御持長記云夜的ニ成テノ矢串ノ事矢ダケ前トモ後トモ申ヘシ其内一尺九寸三寸ト申ヘキ之矢タケノ外ハ大前𪜈後トモ可申ニ夜的ニハ前後ニカヾリタキ又ハラウソクナドヲトモシテモ射之畧義之 矢丈云ラウソク畧義ナリ

一 又云小的ノアタリハヅレノ事 的ガワヨリ矢サキ内ヘ入ハアタリ之 節ニアタリヌレ𪜈矢サキ外ヘ出ハハヅレ之又ガワノトヂメヘ入タルモハヅレ成ヘシ又云小眼ニアタルトイヘ𪜈小アヅチニ矢フカク入テ筈見エズハハヅレナルヘシ的ノ面ヲサスリテ見ルニ矢筈手ニアタリヌレハ中リナルヘシ 秘叓

ナリ又大的ニモアタル矢トイフ𪜈弓ヨハクテ矢トビカヘル又立タリ𪜈矢取モトラス先ニ落ヌレバハヅレナルヘシ 秘事也

一 闇的聞書云小的ニガワノ合目ノアイヘ矢ノ入事有ガワノマゲメヘ矢入タル𪜈イタツキノ先ガワノ内ヘ入タラバアタリナリマゲメノアイヘスグニ入タラバハヅレ之是秘説之又イタツキノ先外ヘ出ハ猶ハヅレ之 伝

一 又云小的ノ時中ニ当リテフトヌクル事有ワレハ当ル𪜈ヌケバハヅレ之 伝

一 又云チヒサキ的ヲ立テ射ルヲ人毎ニ星ヲ立テナドヽ申ナリ星トハ申マジキ事之唯小的ニテ有ヘシ 伝

一 又云小的ニウチ矢ト申事ハガワノ両方ノワゲメノ中ヘ射込タルヲウチ矢ト申之 矢ハハヅレ之今ナド人ノウチ矢ト申叓ハガワノ廻リニアタルヲウチ矢ト申之是ハイハレ

ヌ事ニ本弐ウチ矢トハワゲメノ中ヘ入タルヲ申之　刑

一又云射付ノ小的ト申事ハツグラニ小的ヲ立タルヲ申之
心源モ如此口傳兵

一小的ノ肶人数スクナキ肶ハ立アガリニ射ル事有闌的聞
書ノ説丸物ノ部ニシルス丸物草鹿ブリ〳〵ノ事ヤウノ事ト云ケ条ニ有

カキタヲシ
一又云小的丸物草鹿ブリ〳〵ノ勝負カキタヲシト申事有
一文(モン)ガケニシテ射スグリニシテ取事也殊ニブリノ〳〵ナドニ
射ベシ当リ有ニ又ヨノ人一当リアレバヂニ成ベシ又一手射
タル人有テ地ニ一当リアラバ一手ノ射手一ツ地ニナリテ矢
一ツノ取ニナルベシ又一手ノ射手地ニアラハ以前ノ一手ノ射
手モ地ニナルベシ一手アタリノ所ニ残リイクタリニテモアレ
二ツヽ射ハ矢モ一手ノ射手ハ一ハ地ニ成テ矢一ノ取ニナルベシ

又小的モ此心得ニテ有ベシ小的ノ肶ヲナハニマヘ出スベシヲチ
取肶ハソレヲ分ズシテノ二マヘ一人シテ取之猶々口傳ニ可有　刑

一又云三的ノ立様(中略)串ノ先ヲツグベシワリタル半分ヲソ
グ之ツグ方ハガワノ外ノ方ニテ有ベシワリタルキハヲ的ニハ
サミテシカト紙ヨリニテ結ヒベシ唯ノ小的ノ肶モ同前之　濃

一又云小的ニアタリ矢ハヅレ矢ニ成ト申事ハ二色有ベシ
的ノカワ合目ヘスグニ入タル矢ハヅレ矢之歩ナリ共ガワノ
内ヘ板付ノ先入ハ当リニテ有ベシ又的ニ当リテツヽトヌケ
テ小アヅチナトニ立事有ベシワレハハヅレ之サヤウニ有矢ヲ
沙汰スルニハ先ツ人ニ的ヲヨクカヽヘサセテノ扱手ノヒラニテ
的ノ面ヲ上ヨリ下ヘナデヽ見ルニ筈手ノヒラニアタラハ
其矢当ニテ有ベシアタラスハハヅレ之是二色ナラテハ有

マシキ義之是ハ先ツグテニカギリテノ事之但カキアゲナド
アツクテヤハラカナラバツヽトヌケル事モ有ヘシ其時モ
沙汰ノ様同前之又ハ如此ノ矢ノ沙汰ヲ笠掛ノ的ノゴトク
ニ弦ヲカケテ見ル事有其沙汰ノ様同然之ホヽ口傳ア
ルヘシ 濃

一 又云イタツキヌケタル時ハハダヌギヲ入テタイハイヲシテ
帰リ別ノ矢ヲ取テ射ヘシ是ハ小的ニカギリタル事之大的
ナドノ時ハヌケタルマヽ射ル之

一 高忠聞書別記云小的ノ繪ノ事的ノ面ノ寸ヲトリテ三ツニ
折テノ三ツノ一ツヲ小マナコノ白ミニシテ又コマナコノ端ヨリ
カワ近ノ寸ヲ取テ三ツニ折テ一ヲハ一ノ黒トシ一ノ黒ノ端
ヨリカワ近ノ寸ヲ取テ三ニ折テノ一ツヲ三ノ黒ニシ三ノ黒
ト一ノクロトノ間寸ヲトリテノ三ニ折テ二ノ黒ニナルヘシ二ハ白
ミニツニナルヘシ 二ノ白ミト三ノ白ミニナルナリ

一 又云小的ノ串ノ長サハナシト仰ル

一 又云大的ノ串ノ有時小的ノ立ル事ハタヾアツチニ立ル之

一、弓馬故実云弓場ダケト云叓昔ハ小的ノ遠サ十八杖
程之サリナガラ今ハソレ程ハ遠キ間（愚衍乎）十七杖十六杖程可然
其ホドラ井ヲハカラヒテ弓場長（タケ）ト云ヘキ之

一 弓馬故実云的シロムルト云事暮ニ成タル時ウラヲ
表ヘナシテ立ルヲ云之子コヅラニ成ル時的ヲシロムルト
云之 又云子コヅラトハウスクラクナリタル時ヲ云

一 闇的聞書云子コヅラト申ハ大的小的ニ限テ申ヘキ
叓之余ノ義ニハ申マジキ事之人顔見ユル見エヌ時分

ナリ　濃（貞丈云闡的ハ小的ナレハクジ的ニモ子コヅラト云ヿ勿論ナリ）

一　弓馬故実云夜的ノ眼アカシ立ル事クレテノヿニアヅチヨリ一杖ハカリ前ヘヨセテノ（カヾリ火之）タクヘシ遠ク見エザル眼ハウシロニモタク之躰ホドナラハウシロニタクハ悪シ前斗ニタク事本之乍去曽テ見サル眼ハ後ニタクト云之

○一　闡的　闡的聞書云クジ的ノ寸法ハ本式ナキ物之但八九寸ニモ一尺ニモスヘキ歟又ハ一尺二寸ニモスベシアマリニチイサキハ勝負モナクテソノ曲モナシ繪出シ様ハ大的ノコトシソレヲ置テスヘシ　濃（小笠原美濃守ノ説之）

一　又云数塚ノ有眼クジ的ヲ射ルニ前後ノ数塚ノ通リニ矢代ヲフリテ射ヘシ必前ヘ出スヘシ射手ハ十人シテ射ル之）十一人𪜈ナラハ数塚ヲコホスヘシ

一　又云矢代ヲフリテ射手ノ立様ノ事　次第ヲ躰見合テ立ベシ三弓立（ミユミタチ）ノ眼ハ前ノ上矢先立テ射手又後ニ下矢立テ後三弓立メハ一度ニ上矢下矢トモニ立テ射ヘシ。同（カナアラハ円立テ射ヘ一）

一　又云クジ的ノ眼射手ノヒトリゴト、申事アリ（一手アタル之）一手射タラバサカ羽ヲウツヘシ其眼誰ニイフトモナク一手仕ルホドニヨノサカ羽ニハカ

ハリヽナド、申ベシアマタサカ羽ナトホソタル時ヨノサカ羽ニハカハリヽト申ヘシ是ヲヒトリゴト、申之一手射タル時モ亦一ツ射タル時モサカ羽ノホソ様ハ同事之一手射テ此時モヒトリコトヲ申ナリ 貞丈云 サカ羽ヲホソト云ハアタリ矢アル時ハ我矢代ノ矢ヲサカサマニフリ返シテヲクヿヲ云之

一 又云闇的ノ時 日クレテ人顔ノ見エヌ程ニモナル時分的ヲシロムルヿ有夫ハ射手トシテ的ヲシロメヨ有時的ノ串ヲヌキ的ノウラヲ表ヘナシテハサミテ立ヘクヽ是ヲ的シロムルト申之左様ニシテ二三度射ベシ猶ヽ口傳ニ有ヘシ矣

矢申

一 又云闇的ノ時 子コツラニモ日暮テアラハ矢マハシヲ申之 貞丈云矢マハシトハ矢申之矢マウシノ役人ナリ 矢マハシト申ハ矢ノ的ニ寄ヨリ退ノキヲ申事之的ニ一尺四五寸迄ハ矢処ノ遠近ヲ申ヘシ二尺トモアラハ退タル在所ヲ申テ申ヘシ一尺四五寸退又ハ其内ニテモ有レ前ナラハ前イカホト退タルト申ヘシ後ナラハイカ程退テヽト申ヘシ退タル在所ヲ申テナンズシ退テヽナドマデノ申ベシハヤ矢マハシヲ申時ハサイハイヲ置ベシ 貞丈云ヒルハアタリ矢アレハサイハイヲフルヽ夜ニ入レハ矢申シアリ矢申ヲ申トキハサイハイヲ下ニ置テモチイサルナリ

的ニアタリアラバアタリト高ク申ヘシ矢マハシハ矢取ガ申之サレドモノキ程ヲ井ノ事雖申ヽ间射手ノ中カラ厳原ノ故実ナル者二人斗出シテ矢取ノ在所ヲ見テ矢取ニ申テ矢マハシヲ申サスヘシ矢マハシヲ甲矢ハヤ斗ヲ申之但其内フル射手ナト乙矢ヲモ申セト所望アラハ申ヘシ濃 貞丈云 矢申ノ事大的ノ部ニモ記ス見合スヘシ矢マハシト云ハアヤマリナリ矢マウシト云ヘシ

一 又云クジ的ニアカシタク在所ノ事カキアケヨリ一枚之内ニホテ火前ヘノケテ焼之後ニモ前ノ如ク之的場中ニモ焼之但時宜ニ依ヘシ弓立ニハ前ノ射手ノ立在所ヨリ一枚杖半ツエナカ程的ノ

方ニ前ヘ封テ杖半ホト前的ノ方ヘヨセテアカシヲ焼之後ノ
方ニモ焼在所ヨリ少後ノ方ヘヨセテ焼之又ハ弓立ノ後ニモ取戔
ニ依テ焼ヘシ 濃

矢申

一 又云夜的ト申ハ夜分射ルヲ申之左様ノ取ハキリヲ定テ射之其取
ハ一五度定テ射之五ト射ハテ又射ハ今一五度射ハハンズルナド、申
テ可射夜的ヲハ只ハ射ヌ之ケ様ニ切リヲ定テ射ル之口傳有ヘシ 同

一 又云クジ的ノ取クレテ矢マハシノ取的ノ下ヘサカリタル矢ヲハ二三寸
マテハ申ヘシ矢ヨリサガリタルヲ横矢トテ取ヘシ

一 又云闌的ノ取サカ羽ホノ様ノ事矢代ノキハヘヨリテ弓ヲ直シ
ツクバヒテ弓ヲ立テツキサカ羽ヲホノヘシ下矢ニウタバ弓ヲヒザ
ノ上ニ置テノ上ヲ持上テノ下矢ヲ取上ヲ下ニ置サカ羽ヲ封テ
上矢ノ上ニ封ノヘシ貴人賞翫ノ人ニ相矢ニ成タラハ其人ノ矢ノ
上ニハ封ノ懸ルマジクル事之ソバニサカ羽封テ置ヘシ猶ミ口傳ニア
ルヘシ 濃列モ如此口傳 依

一 又云闌的ヲ鹿苑院殿様ハ百手ノヤウニ日記ヲ付サセラレテ被
遊タル事有

一 又云クジ的ノ取射手ノシテノ事一ノ前ノ射手ハヤノ取シテアラ
ハウシロノ射手ハ必カシコマルヘシシテノ射手弓ヲモ取ニ立タル
間久シクハ其次ミノ射手カシコマルヘシ是ハ一ノ前ノ射手シテ
ノ取ノ事之又中程ナトノ射手シテアラハ其後ノ射手皆ミ
カシコマルヘシ前ノ射手ハカシコマルマシキ事之クジ的ノ取ハ
後ヘムケテ合手ニテ有ヘシ 濃

一 闌的ノ取矢代フリ様矢代ノ部ニ記之故此部ニハ不載之

一 闌的聞書云闌的ノ取的ノ立様ノ事 或云クシ的ハ小的ヲ射ルニ小操ニシ

カト立ルヘシ是モ地ヨリ上ハ六寸ニ可立ル所ニヨリテ三四寸斗ニ
モヒキク立テ射ル事モ有ヘシ串ハ上ノ方ニ成ヤウニ立ルヘシ
一又云クジ的ノ勝負ノ事五人三人ツヽ射当テアリトモ地ニ成ヘシ其
内一手アラハ矢一ノ取ニ成ヘシ相手ホノ合ニアラハ夫モ矢一ノ取ニ
成ヘシカケハイカ程モアレ円俵ニ又矢取ニ料足トラスル所ハカ
サ持タル人出スヘシ当リ矢ノ相手ニナリタル者ノ事ニ一前出ス
ナリ　刑
一又云クジ的ノセウブノカケ取様ノ事　五文ガケノ所（落ニテナキ射手ヲ云ヽ）地ニ当リ
一ツアラバヲチハ十分出スヘシ地ニ当リ二アラバヲチ廿分出スベ
シ当リ三矢アラハ卅分出スヘシ四矢アラハ四十分出スヘシ四矢ノ
所ヲチ一手射当テアラハ四矢地ニ成ヘシ地ニ三矢ノ所ヲチ
一手射アテタラハ三矢ハ地ニ成テヲチ一分ノ取ニナルヘシ地ニ

ニアタリ有テ又ヲチノ一手射タラハヲチノ矢一分ハ地ニ成テノ
今一分ハ取ニ成ヘシ惣テヲチハ二マヘニ当ニ地ニ当リモナクテ
ヲチ一手射タラハ五分カケニテアラハ地ヨリ廿分出スヘシ
ヲチ一射タラハ十分ツヽ出スヘシ条々猶モ廻リ様ニ口傳
有ヘシ　依モ如此口傳　刑
一又云クジ的ノ所射手（矢アヤチヽ）シテアラハ弓ニテモ矢ニテモ取テ射
ヘキ間其次ノ人後（ウシロ）ヘムケテ二三人ハダヌギヲ入テ足フミヲシテ
畏テシテノ射手ヲ待ヘシ其射手足フミヲシ矢構ヲシテ射
ハ同様ニ立テスヘシ又ソトシタルシテニテ逗留モナクヤガテ出
ハ其後ノ射手一人ヰタイハイヲシテ有ヘシ逗留ノ有ヘキシテ
ノ所ハ後二三人迄ハハダヌギヲ入タイハイヲスヘシ残ノ射手ハ矢
構ノ程ニテ皆立ルヘキマデ待ルヘシ惣シテ先シテノ後ノ射

手斗相手ニテタイハイヲスヘシ亦一ノ後ノ射手シチアラハ
唯其射手斗ノタイハイニテ有ヘシ条々口傳ニ有ヘシ其シ
チノ射手ノタイハイヲシテ出ルマテ待物也　刑

一又云クジ的ノ矢代フリテノ有ヲ我ハ下矢カ上矢カト人ニ問ヌ[ヿ]
ナリ其匪ハ矢ヲタバサミ弓ヲ持テ面々ニハラリト寄テ矢
代ヲ見テ上矢ナラハ其侭畏ヘシ下矢ナラハ帰ヘシ上矢ニ
テアラハ畏テ残ノ射手ヲ待揃ヘテ立アシブミヲスヘシ　刑

一又云矢代ヲ三弓立ニフリテノ匪射手ノ立様ノ事前ノ
上矢立テ射ハテヽ後下矢立テ射ル也其次ニ三弓立目ハ上
矢下矢𪜈ニ立テ一度ニ射ヘシヲチアラハ円立テ射ル也三分
二ハ前ニフル也三分一ハ円ノケテ後ニ振也上矢下矢𪜈ニ立テ射
ル下ハ人数スクナキ俤ニヨリテ如斯一度ニ立テ射ル也　刑

一又云クジ的ノ匪アカシ焼匪ハ大的ノ匪ノコトクニ夫ヲ置焼也
カズツカナキ间此匪ハ弓立ニタツ辺カラオテ大的ノコトク
ニタクヘシアツチノ方ヘ圍的ノ匪ハ小塚ノキハカラオテ大
的ノ匪ノ如ク焼ヘシ　濃

一又云圍的ノ匪地ノ勝負ノ事射手廿人ノ匪五人ニ人一宛射
タリ𪜈地ニナルヘシ其内一手矢アラハ矢一ノトリニ成ヘシ相
手サ合テアラハ夫モ矢一ノ取ニ成ヘシカケハイカ程ニテモアレ円
前ナリ

一又云クジ的ノ匪ヲチノ射手ノ事一手射タル匪ハ地ニ三
矢有𪜈ヒトタヲチノ取ニ成ヘシ二矢円前一手射テモヒト
アカリニフン也地ニ二矢ナリトモヲチノ矢一ニテウマル地ニ四
矢有𪜈ヲチノ矢一手ニテウマルヘシ　濃

一 又云闔的ノ助矢代振所ニ射手ノ立間ハ弓タヲシスル程アラハ可然射手ノ立辺ト矢代ノフル间ハ弓杖一枚斗ホト也 佐

一 又云クジ的ノ助的ノカワニ当リテ外ノ方ヨリ内ヘ入タルモ当リ也又的ノ面ニ当リテ板ツキノ先ガワヨリ外ヘ出タルモ当リ也又的ニ当リタル矢ノ筈ナトニ当リナクリテ其矢的ニ当ル事モ有ヘシ夫モ当リニテ有ヘシカワノ合目ノ间ヘ矢スクニ入タラハハズレ也是ヲウチ矢ト申也今程ホ矢ト申ハ的ノキハニ矢ノ立ヲホ矢ト申也夫ハナキ事也合目ノ间ヘ入矢ヲホ矢トハ申也如此合目ヘ入ヒイタツキノ先カワノ内ヘ少モ入ハ当リ矢ニテ有ヘシ外ヘ出ハ中々ハヅレ也合目ノ真中ヘ入タルモホ矢トテハツレ也余々心得ヘシ 濃

一 又云クジ的ノ助矢取ハ的ヨリ後ノ方ニ有ヘシサイハイ振ハ弓太郎ノ矢取ナトガ振ヘシアツチノ方ヨリ弓杖一枚斗ソバヘ寄其通リ弓杖二枚三枚ノ内ニサイハイフリ有ヘシ夫ヨリ少サカリテ皆々矢取共有ヘシ的ニアタレハサイハイヲフルヘシハヤ日暮テアラハサイハイヲ置テ矢（申シ）ヲ申（矢文云 矢マハシハ）矢申ナリ 又アタラハ高ク弓立ノ方ヘ聞エ候様ニ当リト申ヘシ的ノカワニ当矢ヲハホ矢ト申ヘシ本ホ矢ト申ハ的ノカハノ合メノ间ヘ入タル矢ヲウチ矢ト申物也カワノ外ノ方ニ当矢ヲハホ矢ト八申マシキ事也但近来ハ如是コレヲホ矢ト申習ハシタル也揺テノ矢マハシニ甲ヤ矢斗ヲ申物也但人ノ所望ニヨリテ乙矢ニモ乞ハレバ申ヘシ 濃

矢申

一 又云御所ニテノ闔的御坐候助ハ弓太郎ノ役ニテノサイハイ的ヲモハリテ進上申物也

一　又云鬮ノ的ノ貼皆〻立並テ甲矢ノ貼ニシテアラヽ貼何レノシテ
ニテモアレ其射手肩ヲ入足フミヲシテ帰テ畏脹替ヲ
取又ハ矢ニテモ取ヘシ其相手ニハ後ノ射手甲矢ヲ射テ
可畏シテノ射手脹替ニテモ矢ニテモ取テ又足フミヲ
セハ前ノ如ク立アヒテ又立ヘシ若又シテノ射手ノ遅
クハ出畏タル後ノ射手又曰射テ畏ル其又後ノ射手
モ甲矢ヲ射テ可畏シテノ射手遅ク出ハ後三人マテハ
射テ可畏ル揔テ逗留アラハ後ノ射手ハ悉甲矢ヲ射
テ可畏之其謂ハシテノ射手矢ニテモ弓ニテノモ取テ
出ヌ間ハ射ルハデ待ル物之其義ニ依テ如期也是本
式ノ事也先ハシテノ射手後斗射テ可畏若又猶
逗留アラハ其後ノ射手モ同射テ可畏是ハ久シク
逗留アラハ如期ニソトノ義ナラハシテノ後斗　如此スヘシ
相手シテアレハ射テ畏ト申ハ甲矢ノ貼ノ事之乙矢ノ貼
アラハ是非ニ不及射テ可畏マテ之一ノ後射手ノ貼シテ
アラハ其者一人ニテ有ヘシ此分（美濃守政廣）濃州委尋申ル之マタ
（持清法名之）大中シテノ後ノ射手斗可畏由兼ル（持長法名之）心源ハ濃州ノコト
ク被仰ル之濃

一　又云クジ的ナドノ貼袴ノツバナドヲ取袒ラ井ノ事足
ノ大ユビノ見ユル見エズノ袒ニ取ヘシ

矢申

一　又云クジ的ノ貼矢申シニナリテ的ノ下ニ寸斗マテハ二寸
下ニテルト申ヘシ其ヨリ上ナラハシカト的ニソヒテルナド
申ベシ

一　又云クジ的ノ貼ヲナノ射手ハ揔ニトリガ一アラハ二前出

スベシ一手矢アラハ四前出スヘシ三矢アラハ六マヘ出スヘシ四矢
アラハ八前可出如期当リ矢一ヵ二マヘニナルヘシ夫ヲ追テ
出スヘシヲチノ衬手ノヿ之
一又云揺ニ当リ一モナクテヲチハカリ一アタリアラハ揺ヨ
リ一アカリ出スヘシ又一手ノ矢ニテノアラハ二アカリ出スヘシ
是ハ揺ニ当リナクテ唯ヲチ一人衬ル眨ノヿ之
一又云クジ的ノ眨一手矢有眨ニ上矢下矢一宛当アラハ以
前ノ一手矢地ニ成ヘシイクツモ当リ有𪜈如此追テ地ニ
成ヘシ三矢四矢ノ眨モ同前イクタリモ一手矢アリ𪜈地ニ
成ヘシ一手矢ノ眨余ノ人一衬当テアラハ矢一地ニ成ヘシ
相手廾合テノ一手宛衬当タラハ四分ノ取ニ成ヘシ若別
人一アタリアラハ一地ニナリテノ三分ノ取ニナルヘシ如此当リ
ヲ追テ地ニ成ヘシ
一又云クジ的ノ眨揺ニ一手矢アラハヲチノ衬手衬当タラハ
其衬手地ニ成ヘシ揺ニ一アタリアラハ地ニナリテヲチノ人
一ノ取ニ成ヘシ上矢下矢トモニ一手ツヽ当リノ眨ヲチノ
衬手ノ一手衬当タラハ地ニ成ヘシ揺ニ三矢アラハヲチノ
衬手一手衬当タラハ三矢地ニ成テノヲチノ矢一ノ取ニ
成ヘシ揺ニ三矢アラハ衬当レハ眨ハ一手地ニナリテノ矢一ノ
取ニ成ヘシ如是コレヲオモヒテ心得ルヘシ
一扇鏡云クジ的ノ眨矢筒ニユガケ付様ヒツトキ之
一高忠聞書別記云ヒトリ弓ノ袢絆ノ事大的ノ部ニ
シルス。中弓ノタイハイト云モ此事ヲ云之
一又云サカ羽ウツヤウ一手矢ヲシタリ𪜈人ノ矢代マテ廾

叓有ヘカラス其故ハ三弓立ノ時ハ我ヨリアヒ手モ射アテ
ツレバウツベキサキニ射テ置テハ又何矢ヲウツヘキニモ
アラス今程人ノアヒテノマデ射ル事イハレナキ事之

一弓馬故実云相手貴人ノ時矢代ニ別ノヿナシサカ羽射
時ハ貴人下矢ナラハ本ノ如クウナカケズシテ下ニスグニ
置ベシ平人下矢ノ時ハ別義ナシ

一弓馬故実云小的ニ笠ヲ持ト云事是ハ相手ノ射当
タル時ハアテヌ人ノ事之カサ持ト云ヿ昔ハ笠ヲカケテ
賭(カケ)ヲ取タルニ依テ之前ニ注ス如ク射アテタル人ハ矢代ヲ
フリ射アテヌ人ハカケヲ取之若フタリナカラ射アテタル
時ハ上矢ハ矢代ヲフリ下矢ハカケヲ取之

一又云貴人ト相手ニ成テノ事矢代モ相手ガフリ賭ヲモ
相手カ取之扱料足ヲ半分ニ分テカイヅヘソバニアレバツ
レニモ渡シ又貴人ノ前ニモ高クツミテモ置之

一又云カケノ取様ノ事貴人ナレハカケヲ持行テ射手ノ
前ニ置等輩ナレハ人ノ前ヘ取ニ行之右ニハユカケヲサス
間左ニテ取テ右ノ手ヘウツス之扨右ニシルス如クヨミハセ
デ大形半分ワケテ一ツ分ヲ人ノ前ニ置一ツ分取テノク
ベシ

一的出張記云クジ的ノ時相手一手射カケルヲハ矢下ト
申ル

一又云勝負ノ地ニ成タルヲバイツブシテ射ツブレテナド、
申之ウマル(埋)ナド、ハ然ベカラズ 矢丈云両方負モ勝モナキヲ持ト云也持ノ字ヂトヨムヽ地ノ
字ヲ用ルハワロシ

一 又云クジ的ノ肬ニ弓立ニ立ルヲバ上矢通ノ衆下矢通ノ
衆ト申之

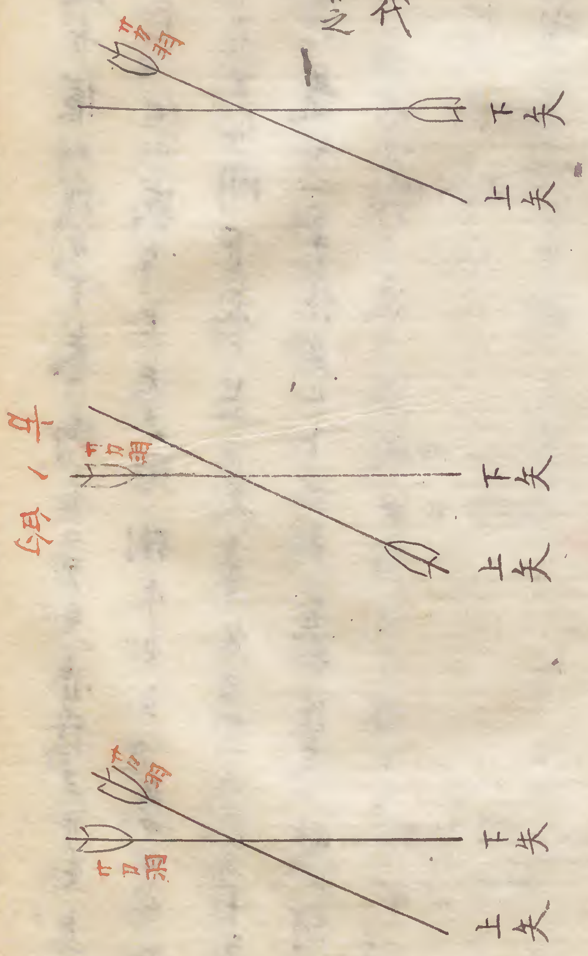
一 又云クジ的ノ肬カンセウブト云事有口傳

一 矢代之記云 サカ羽打様ノ事 上矢ハ如常 ウツヘシ但
一手矢ノ肬ハ羽中ヲ打ツヘシ

一 又云下矢ノサカ羽打様 上矢ヲ上ヘノケテ下矢ヲ如常打
テ上矢ヲ如前上ヘ立ズヘシ同一手矢ノ肬ハ如前 上矢ヲ
ノケテ下矢ニナラヘテ打ツヘシ下矢モ一手ノ肬ハ言葉吉云説
葉ヨシトハ一手仕ルト人ノキクヤウニイフ之

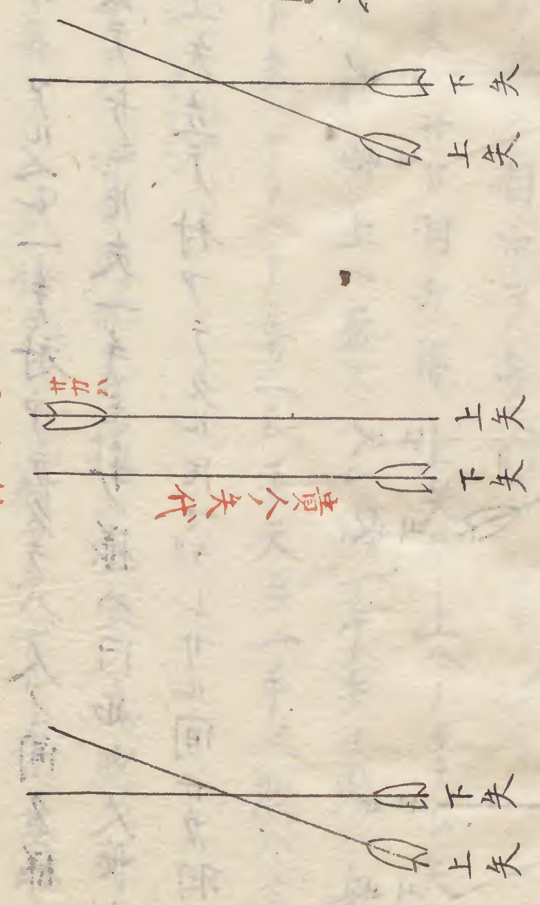
一 又云射アテヽサカ羽可打様ハ上矢ニ立肬ハ射アテヘア
ラハ皆眉ヲ入式体ヲシテ射アテザル人ハ其マヽ坐敷ヘ
帰ル肬アテタル人ハ的ノ方ヘ向テ弓持ナカラ畏テ片矢
射アテタラハ何トモイハズシテサカ羽打之初振テ置タル如ク
ニ程ラ井ハアルヘシ一手射アテタラバ人ノ聞ク様ニ一手仕
タルト云テ打之片矢一手モ打様ハ同如ク人女クハ一度ニ
立肬ハ上矢立テ射アテタル𪜈マギレサル間サカ羽ウタズ𪜈
ナリ

此図矢代之記ニ有之



一　又云此持様ハ我カ下矢ニ御主ニテモ亦我ヨリモ上(ウハ)手ノ人ニテモアレ一組ニ成テ上矢ノ時相手タラハカヤウニ持ヘシ上矢ノ事ニテアル間下矢ノ上ニ矢ニモ乄セズスグニナラベテサカ羽ニ持之是モ一手仕タルト云テ持之片矢ノ時ハ何ト云ズ持之

此図矢代之記ニ有之



一　矢代之記ニ射手矢代ノ神頭持出テ振人ニ渡様有矢代ノ部ニ記

一　射手方聞書云射アテタラハ我矢ヲサカサマニ持テ置ナリ一手矢ヲシタル人相手ノ矢代迄サカ羽ニ持事イハレナキコトナリ若其人射アテタラハ何ヲサカ羽ニ持ヘキゾヤ一手矢シタル相手ノ矢迄サカ羽ニウタズドモマレナルコトナレバ其坐ニカクレアルベキコトナラズ

式ノ鬮的

一　弓馬三冊云小的ヲ立テ鬮的ヲ射ルモ（数(カズクジヲサスニ)ヲサシテ射ルニ）射手ハ十人ニシテ五度射ルニ（数(カズクジニ)ハ百ニ）前ノ数五十ニ十人ニシテ五度ノ矢数百ニ矢代ヲフリテ射ルニ先一番ノ上矢ノ人一番ニ前ニ立テ可射下矢ノ人相手ニテ後ロニ立テ射ル其次二番目ノ矢代ノ人一ツガヒ可射矢代ノ次才ニ五番マデ五度可射上矢ノ人ハ

大前ニ立下矢ノ人ハウシロニ有ヘシ矢代ヲハ一番ニ振タルマヽニテノ
置テ五度可射十人シテ一ツカヒツヽクジ的ヲ射事数(カズクシ之)サス時ニ
限タル事之是ハコトナル秘説之日記次第ニ御的ノ如ク坐シ
テ数皮ナトヲモ前後ヒニ白毛ヲ的ノ方ヘナシテ可数(カズ串之)数ノ
置所同数(カズクシ之)サスヘキ様(大的ノ了之)歩射ノ時ニ前後ヒニカハルヘキニアラス
是ヲ式ノクジ的ト云之五度弓三度弓ト云ハ似タル物ニテカハル
ナリ、射礼、日記ノ奥ニ記ス

一 又云数サヽサル時モ十人射ル迄ハ数ツカヲハ其マヽ置テ矢
代ヲ振テ射ル之又云十人ニ餘ラハ数ツカヲクヅシテ矢代ヲ可振

立アガリ

一 又云立アカリニ射ル時ハ矢代振テ可射之フリ様ハ常ノ如ニテノ
矢一ツヾヽスグニ置之立アカリト云ハタトヘハ五人シテ射時ニ一
番ニ立テ射タル人二度メニハウシロ弓ニテ射之何ヶ度モ此分之大勢ニテモ

此心得之サル間一番ニ射タル人射ハテヽ後前ニ有我矢代ヲ取テ
後ニ可置イク度モ前ニ射タル人ハ矢代ヲウシロニ可置矢代ヲ
フラテ只立アガリニモ射ル二人シテ射ル時ハ前後ウナカヘシ射ル之
又云立アガリノ時モ二度メ四度メタリヒウシロヨリ射ル了ア
ルヘカラス何ヶ度射ルヒ前ヨリ射ハジムル之

一 歩立聞書云同頃(貞丈云此前ノケ条ニ永享二年)御閫的ノ事アリ 御閫弓ノカケノ了
立文ツヽ帋ヒ子リニテクヽリテ出シケル之カ子テ用意有ヘキ之
三矢四矢ノ勝負先ハ円キ之

射スグリ

一 歩立躰拜記云矢代ヲ一ツヽ振ヲバ射スグリト云之其時ハ大前
ニ立ル人矢代ヲ後ヘ可越弓場次第ニツマリテ又矢代ヲフル
ヘキ之

一 八廻日記口傳云クジ的ノ寸法ノ事閫ハヌルデノ木ヲスヘシ長

サ五寸二分斗筒ヘ入方ヲ丸クウスク削テ上ヘナル方ヲホソクケヅリテノイマノ丸キ所ニ一ミ二ミト廿ナガラ書之鬮ハイカニモ色ヲウツクシクアカウルシニ薄ツヌル之同筒ノ事長サ四寸五分斗ニシテフトサ鬮廿斗入程タルヘシ上ヲ削テ黒クヌル之又クジヲ取テ髪ニサス之エボシノ右ノ手ノ下ニサスヘシ 矢丈云クジニツヽ同ヤウノ合木ヲ云之 同様ノクジ取タル人相手ニナルヘキ為之本ハクジヲ取テ相手ヲ定タレ𪜈後ニハクジヲハヤメテ矢代ヲ振テ相手ヲ定ルイニ成タル之矢代モ即クジナリ

一 小的事ニ云クジ的ノ貼ハ敷皮ヲ持ヘシキ之ヒツ敷シカルヘシシクシク貼ハスソヲ前ヘナシテ敷ヘシ但式ニノクジ的ナラハ敷皮モ可然貼ニヨルヘシ式ノ敷皮ヲシカバマハル貼ハ白毛ノ方ヲマハルヘシ内シノ貼モ白毛ノ方ヲ的ノ方ヘムケテ敷之

矢申
一 又云矢申ト云ハクラクナリテノ事之甲矢ノトヲリバカリ云之

乙矢ヲバイハズ的ノ前後上三方ヲバ矢ダケマデ云之的ノ下ヲバ六寸斗迄ハ云之的ノテヤウ土上六寸ニ立ル故ニ六寸マデハ云之其内ハ何𪜈云之縦バ的ノ前一尺バカリトモ五寸バカリ𪜈矢タケバカリトモ斗(ハカリ)ト云字ヲ入テ云之又射手乙矢ヲ問ハバ此乙矢ハドチヘ行タルトイフヘキ之

一 又云クジ的ノ貼懸物ヲ給事アルヘシ弓場ニテ給トモ弓ヲ持テハ叅間敷之弓矢ヲ置テユガケトル迄留ナクバタオホヒヲ返シ叅玉フヘキ之イタバキテ取ヘシタオホヒヲ返ストハユガケノウデノクヒヘカヽリタル革ヲ上ヘカヘスヲ云之ユガケ取程ニ用之

一 小的事云他流ニハ一手射テハ下矢共ニサカ羽ガ之更ニ心得ラレヌ義之人ノ矢迄ガテハ又人ノ射タラン貼ハイカヾガベキゾ此義イハレズ一手射タラハ一手仕ロト詞ヲツカヒテサカ羽ガ之一手

ノサカ羽トテ別ノ義ナシ洞ヲツガフ迄之 亥丈按羽ヲツカヒタル斗ニテハ貶ニヨリ終ルヘヿモアルベキカクジ的次第ニ見エタルオモムキ明ニワカレテヨキ也

一 闌的次第ニ云サカ羽ナス事 矢代ノ前ヘ行弓ヲ横タヘ陰ヲ下ヘナシ矢ノ本ハギノ下ヲ右ニテ逆手ニトリツキ立上ヨリ下ヘスゴキオロシサカ羽ナス之 貴人或ハ其日賞翫ノ人ナド下矢ナラハカケテ置マシ服ヘナラヘテ置ヘキヿ円単ハカケテ置テモ不苦束矢ノ貶ハ何ノ矢ヨリ羽ダケ的ノ方ヘ出シ置之 是ハ二弓立ノ上矢代サカ羽ナス様之 下矢ハ勝負互ニ知ル故サカ羽ナス事ナシ 一弓立モ其通之 三弓立ヨリ二弓立メノ下矢ハナス之 三弓メハ是モ勝負互ニ知ル故サカ羽ナスニ及ハズ

一 闌的聞書云闌的ノ貶子ブリ立ルト申事 是ハ本式ナキヿニ其貶ハ地ニ当ノ有貶揺ノ対手ノコトクカケヲ出スヘシ当ナキ貶ハ揺ノ対手カラ一分ツヽ料足ヲ取之 是ハ対手デナキ人見物ナトスル人ノスルヿ之 一向ノ略義之事也

一 闌的ノ次第云子フリノ事 是ハ対手ノ外見物人ナトノ内ヨリ或扇或草木ノ葉ナト持テ組合モノアリ 其貶ハ先矢代ヲ右ノ方ニ置其物ヲトリ矢代ノ如ク組合スル棒ヲシテ下矢代ニフリ置 サテ右ノ矢ヲトリ始ノ如クマセ合セ矢一本ツヽヌキ右ノ物ノ上ヘフタ（タリ）カクルニ何本ニテモ右ノ通シカシ五本ヨリ過ヘカラス又子フリ一人ニテ矢代ト一ニフル事モアリ 若上矢代ニフリカクル事アリトモ下矢代ニナスヘキヿ 又云子ブリハ落ト円前一本中リハ二矢二本中リハ四矢之 亥丈云武田流ノ弓礼秘傳書云落ヲ賑ト云ヿ当流ニテハ無之之 イツモ落ト云之 落両人好ム貶ハ上矢ノ落下矢ノ落トミヘ未子ムリト云ヿハ見物ノ中ニ古対手杯有之テ一坐ノ興ニ老テ弓モ

ヒカレス見物モウラヤマシク、サラハセメテハ、子フリ成トモ仕ラン
トテ何ニテモシルシヲ出シルヲ子フリト申ナリ

負丈云落子フリノ事 落トニ云ハクジ的ノ射手人数偶ノ時ハ落ト云事ナシ人数奇ノ時ハ落アリ 矢代ヲクルニ矢二ツヽ組テ置之人数偶ノ時ハ矢代ノ矢残ラス二ツヽ組合之人数奇ノ時ハ矢代ノ矢二ツヽ組合テ終ニ矢一ツ餘ル之是ヲ落ト云之組合ニハツレテ落タル意ニテ落ト云ナリ此落ノ射手ハ矢一ツ中ハ矢二ツノ中ニナル之サレハ其日射手ノ申合ニヨリ人数偶ノ時モワサト落ヲ立テ二人ツヽ落トス上矢ノ落下矢ノ落ト云是之又子フリト云ハ射手ノ人数ノ中ニアラザル見物ノ人賭物ヲ出シテ矢代ノカハリニ或ハ扇或ハ木ノ枝ノ類ヲ出シテ矢代フル人ニ渡シテ矢代ノ列ニフラスル之扨射手ノ内ニ親類カ懇意ノ人ナド有ヲ頼テ我カハリニ射サセテ勝負ヲスル之是ヲ子フリト云之子フリモ矢一ツ中レハ矢二ツノ中リニナルナリサレハ子フリノシルシニ出シタル物ニ外ノ矢代ヲフリカケテ組ミ置事ハナキ事之矢代ニクマズシテ置之子フリイタツ有𪜈同シ是射手人数ノ外ナルガ故之矢代記ノ図ニモ子フリト矢代矢ト組タル図ハ無之闇的之次第ニ子フリノシルシノ物上ニ矢代ヲフリカクルトアルハ正義ニアラス他流ノ説之用ヘカラズ子フリト云名ハ主ハ射スシテ子フリテ居ル意也

○一 奉射（ブシヤ） 射手方聞書云 歩射ト申ハカナダチノ惣名之 然ルニ田舎辺ニハ神事ナドノ時六人シテ射ルバカリヲブシヤト心得タリアヤマリ之 又馬上ヲ騎射ト云 貞丈云 歩射ハ騎射ニ対シタル名目ニテ歩立ニテ射ルノ惣名之 又奉射ハ神事ニ六人シテ射ル大的之的ヲ射テ神ニ奉ル之 歩射モ奉射モ共ニブシヤトヨムユヘ田舎辺ノ人ハ差別ヲ知ラズユヘニ歩射ト云ヲ奉射トオモヒアヤマルト之 今世モ歩射ヲ奉射ト取チカヘテ大的ノイヲ奉射的トオホヘタル人多シ

一 奉射大的記云 奉射之大的并的射ノ次第 射手六人一番（ツガヒ）ニテ三度宛射之 六人ノ矢数以上三十六之

一 又云出立ノ事 上古ハエホシ直垂ニテビカウヲハク之 略義ニハエホシ上下（カミシモ）ニテ射ル之 貞丈云 ビカウハ沓ノ名之 浅沓ノコトクノ皮ニテ作リ沓ノ鼻ヲ高ク（ニテ鼻ノ上ニ糸ニテ）雲形ノ如ク（縫ヲ）シタルモノ之 今モ禅僧ノ長老ノハククツ之 上下トハ素袍ノコトナリ

一 又云弓立（ユンダテ）ノ時ハ前弓後弓見合テ同如ク歩出コモ二枚ノ前ノコモノ敷合ノ際ニ畏リ右ノ手ニ箭ヲ取添テ弓ヲ持左ノ手ニテヒモヲトク之 条々口傳有之也 貞丈云 此外ノ事トモ諸事常ノ大的ニ替事ナシ 右ニ記シオク 本書ヲ見テ考ヘシ

一

○一三的　射御拾遺抄云三的ノ事大中小三ヲナラヘテノ立之ナラヘ様小ヲ上ニナシテ中大ハ両方ノ下ニナシテ立ル之串ハ的一ツニ一ツヽアルヘシ但立様ハ射手ノ好ミニヨル事モアルヘシ三ナラヒタル的ノアハヒヘ入タル矢ハハヅレナルヘシ是モクジ的ノ故ノ事之カケノ事ハ小的ヲタカクシテノ次第ニソレヲオフテ沙汰スヘシ

一射御持長記云三的ノ事大小中三金輪ニ可立イツレモ串一宛ニ小ヲ上ニ大ナルト中トヲハ前後ニ射手ノ好ミニヨリテ可立勝負ノ事ハ小的ハ高ク中ハソレヨリ少ク大ナルハ猶少シ的三ノ間ヘ入タル矢ハハヅレ成ヘシ

一高忠聞書云三的トハ流鏑馬ノ事之又歩立(カチダチ)ニ小的ヲ三タテヽ射ヲモ三的ト云之

一闇的聞書云三的ノ立様ノ事大ナルハ後中程成ハ前チヒサキハ一ノ上ニ立ヘシ的ノ寸法イカ程トハ定ラスル但大ナルヲハ八九寸ニモスヘキ乎一寸斗ツヽオトリテ残リ二ヲスヘキ之繪ノ出シ様ハドレモ大的ヲオイテスヘシカワノマゲ目ヲ串ニハサム之串三ニテハサム之委口傳有ヘシ又ハ的ヲ一宛串ニテハサミテノ三ツカナワニシカト立ルヘシイツレモ串上ノ方ヘナル様ニ立ヘシ　濃

一又云三的ノ寸法ノ事小キハ四寸斗中ノハ六寸斗大成ハ七寸斗立様ハ小キハ一ノ上大ナルハ前ノ下中ノハ後ノ下串三ツニテハサムヘシ猶ゝ口傳ニ可有之　無

一又云三的ノ故人毎ニ上ナルチヒサキヲ星ト申之是モ串間數事之　濃

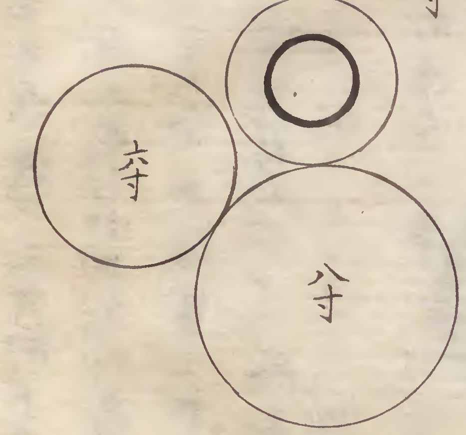
一 又云三的ノ勝負ノ事大ナル的三分ガケナレハ中ノハ五分チイサキハ十分之カケハイカ程ニテモアレコレラホドツヽオトルヘシ大ナル的ハヤスキ之 依モ如此口伝 濃

一 又云三的ノ立様チイサキハ一ノ上中ノ的ハ前ノ下大成ハ後ノ方ニ可立ル串一ツヽニテハサミテ立ル事本之串ニテハサムニハ的ノ合メヲハサム之串ノ方上ヘ成様ニ可立ル三ノ的ヲシカトヨセテアヒノスキナキ様ニ立ルヘシ串ノ先ヲツグヘシワリタル半分ヲツグ之ソク方ハガワノ外ニテ有ヘシワリタルキハヲ的ヲハサミテシカト紙ヨリニテ結ルヘシ只ノ小的ノ貼モ円前之 濃

一 又云三的ノ料足ノ取様ノ事チイサキハ同チイサキ衬タルト地ニ成ヘシ大ナルモ中ナルモ其的〳〵ミナ〳〵地ニ成ヘシ如此有間カケ料足我モトリ人ノ方ヘモ出ル之又ドノ的ニテモ勝負有物之ヲチノ衬手モ例式ノ小的ノ衬様出シ様円前之三矢四矢其外皆々円前之四矢モ矢一ツ地ニ成ヘシ

一 高忠聞書別記云 三的ノ事イヤウハカナ立円事成ヘシ的ノ立ヤウニ的ノ繪ノ出シ様カハルヘシカヤウニイタスヘシ 点丈云 二的トハ中ト小トノフタツヲ云ミ

小的四寸



カヤウニイツモノコトク三ツナラヘテノタツル的ノ繪ハイツモノコトク出スヘシ二的カヤウニ出スヘシ

一 弓法秘傳聞書云或説ニ三ツ的ト云事有大中小三ツカナワニ立ルナリ勝負ニ射ル時ハ小カケ賭ハ高シ中カケモ二ノ次大ハ又此次ヤスシ是ハカワニ分テ給常ノ如シ又串ナトモ常ノゴトシ三ツ立タル的ノ間ヘ射入タルハ外タルヘシ矢トリハカナラスノヽ其心得有ヘシ

一 弓馬三冊云三的勝負ノ事大ナルヲ十文カケナラハ中ハ廿文小ハ卅文ニテ有ヘシ十文カケニ射当タリトモ廿文カケニ当タル人アラハ十文可出十文ハウマル埋之ノコリモ此分之能〻可算用有之

一 又云三的ノ立様此分一二三ヲ前後シテタツル流有リ不可用此分之寸(スン)ハ不定射手心マカセ之

但大方此分可然

一 段秘スル的之

一 五寸

二 一尺

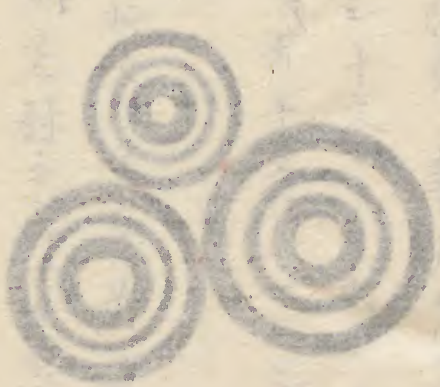
三 一尺五寸

朱ニテシルシ有所ヲ串ニテハサム串一ツニ的二ツツヽハサム之

一 小的事ニ云三的ノ支的ヲ三ツ立テ射ル之射ヤウ常ノ小的ニカハルヘカラス的ノ寸法チイサキ的四寸六寸八寸三ノ的之大中小三之串ハ二ニテモ立ル之立ヤウハ常ノコトク之

一 又云三ノ的ニ的一ツニ矢二ツアタリタラバ持ナニ成ヘシ三ノ的ニ別〻ニ一ツヽアタリタル矢アラハ三方ヘ出スヘシ何ニテモ一ノ的

ニハ持トナリヽトモ二方又一方ヘ出スヘシ又三並ヒタル的ノ間ヘ
入タル矢ハハヅレ候是ヲシルスニ不及トイヘ𪜈人不審ノ間書
ノスル候



○一 草鹿　法量物云草鹿事鹿ノ勢長サ一尺八寸廣サ八寸
クビノ長サ七寸五分（異本八寸五分）ツラノ長サ三寸五分セトヲリノ星七ツ矢
アテノ星四寸（カ子ノ定）マハリノ星八ツ四所ハ大ナルヘシ前後ニオノ〳〵
四ツヽチハセトヲリノアハヒ五寸ヨコサマニハウラニナノヤウニシ
テノ二所ニ川トヲスヘシ鹿ノ首前ヘムカフタヽ弓手ニアフカコトシ
綱ハウヘニフタツチアルヘシ

一 闡的聞書云草鹿ニ足ノナキ事ハ頼朝ノ時冨士ノマキガリヲ
セラレテカラ始リタル候夏山ノ高キニ鹿ノ立タルヲマ子テシ
タル候是ハ狩ノ瞽古ノ為ニシ出シタル事候草ノ中ニ立タル
ヲマ子タル間足ハナキ候カヤウニ可心得候　濃

一 草鹿ノアタリハツレノ事　闡的聞書ノ説丸物ノ部ニアリ可見合

一 又云草鹿ノカケヤウノ事　闡的聞書ノ説丸物ノ部ニアリ可見合

一　又云同書云草鹿ノ矢所ノ事　馬ニトラバヒラモヽノ辺ヲ射タラバシツサキヲ射タルト申ヘシ肩ノ辺ヲ射タラバキンカタヲ射タルト申之全中ニ大キナル星ノ有ヲハ矢アテノ星ト申之同事ナカラ連銭ヲ射タルナンド丶申マジキ事之　濃

一　又云丸物草鹿ハ闇的ノ如クニ矢代ヲフリテ射ル之但此替ヘシ立様モサカ羽ノ打様モ　其外何モ同前ニ一手神頭一手シメニテ射ヘシ　濃

一　草鹿ハキリヲ定テ一立度ツヽ射ル事闇的聞書ノ説丸物ノ部ニ記ス見合スヘシ

一　闇的聞否云丸物草鹿ノアタリハヅレノ矢ノ沙汰ノ事ハ笠懸ノ沙汰ノコトクニテ有ヘシ　濃

一　丸物草鹿ニ四目ノ頭ニ見ルト云事闇的聞書ノ説丸物ノ部ニ記ス見合スヘシ

一　丸物草鹿ブリヽヽノ射様闇的聞書ノ説丸物ノ部ニ記ス

一　小的丸物草鹿フリヽヽノ勝負カキタヲシト云事有クジ的聞書ノ説小的ノ部ニシルス

一　又云丸物草鹿射ル時人数ナトスクナキ時ハ矢代ヲ振ニ一ツヽ並ヘテ振テ立アカリニスル之又人数多時ハクジ的ナトノ時ノコトク矢代ヲ振テ可射　重テ濃州尋申也

一　又云丸物草鹿矢音ノ事ヒヤウシト丶申ヘシ一手神頭四目ニテ射ヘシ矢音ハ何モ同事之　濃

一　又云草鹿ハ頼朝ノ御代ヨリ始ル之狩ノ稽古ノ為ニセラレタル義之夏野ニ鹿ノ立タル所之去程ニ足ヲハセヌ之夏野ノ事ニテ有間鹿ニ星ヲスル之鹿ノ胴ノ長サ一尺二寸

亦ハ一尺又ハ八寸ニスル之法量物ニ見ヘタリ濃

一 又云草鹿長サ一尺六寸ニモスル之又ハ八寸ニモスル之

一 又云草鹿ノ長サ一尺二寸ト有サレトモ長サ一尺六寸ハカリニモ
ルヘシ如斯善長ノオヤノ法量物ニ在之是根本ノ法量物也

一 又云草鹿ヲハ一手四目ニテ専射ヘシ丸物モ皆ヘシ 兵部心源 如此口傳彼

一 扇鏡云ハサミ物并草鹿丸物楞弓ノ袢拜之

一 又云草鹿丸物カナ立ニテ射之

一 又云丸物草鹿ウラハ板之中ヘハヤハラカ鹿ノ毛ヲ入ル之

一 高忠聞書別記云草鹿丸物モ的アヒトユヘシト仰ル

一 法量物異本云鹿ノ勢長サ一尺八寸竪サマ八寸クビノ長サ
八寸五分弐ハ七寸五分面ノ長サ三寸五分セトヲリノ星七矢ア
テノ星四寸 カ子ノ定 マハリニ星八 大皿小皿 矢アテノ星七堉後ニ星四ツヘ

乳セトヲリ間五寸横サマニ裏ニ二所乳ノヤウニシテ川通スヘシ
綱上ニ二ツ乳アルヘシ鹿ノ頭前ヘムクノ唯弓手ニアフガコトシ
串并アツチノ遠サ丸物ニ同シカルヘシ

一 弓法私書云矢アテト云事ハ草鹿ナラデハ申サヌ之的丸
物挟物ナドニハユメノヽ申マジキ事之草鹿ニ矢アテノ
星ト申テアル之

一 弓馬三冊云草鹿ノ事頼朝ノ御代冨士ノ牧狩ノ比夏
野ノ草深キ所ニ在ル鹿ヲ射タルカ面白キトテ夫ヨリ
後草鹿ト名付テノ初テクヽラセテアソハシタリサレバ草
鹿ニ足ナキ之草深キ所ニ鹿ノ立タル所之

一 小的事ニ云丸物草鹿ヲハ弐ニ拵タル一手神頭ニテ射ヘシ
又一手四目モヨシ又矢頭ト四目トツガヒテモ不若甲矢ト

乙矢ノカハリニタルヿニテハナシ一手ツヽカハリタル射手ノヿ之

一又云挟物草鹿丸物ナドハ白木ツバ白木村ゴキナドニテ可射自然白木ノ弓ナキ此ハ塗弓ニテ射トモ白ツルヲカケテ射ヘシ

一又云丸物草鹿ノ矢ハ一ツヽ取ヘキ之同矢取ハ中间本之小者ハ略義ナリ

一又云アツチノ遠サ弓杖十一ニキテ十杖ニ草鹿ヲ掛ヘシ挟物同シ次ニ垜ノ大小是モ不定但廣サハ弓杖ホト可然高サハソレニ応シテツカスヘシ小垜アルヘカラス昔ハ丸物草鹿ヲモスナ砂土ナドカキアケテ射之

一又云串ト垜トノ間一杖ニ少近シウラハズヨリ握ノ辺ホト之

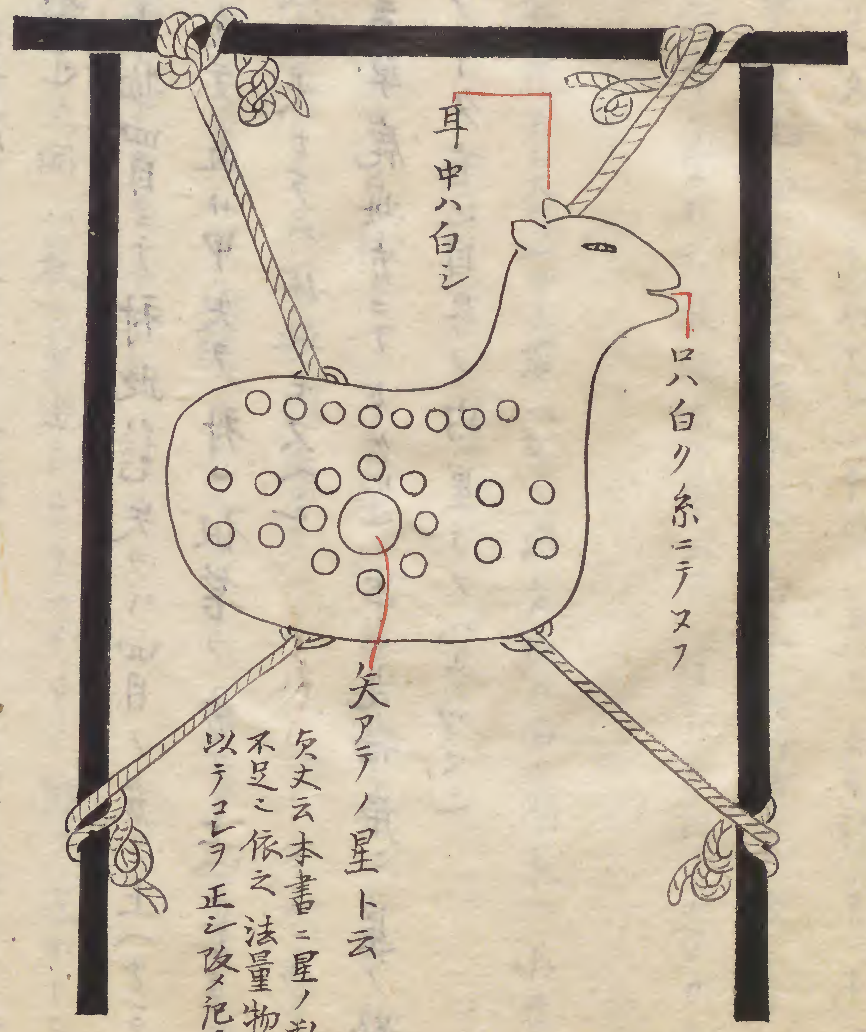
一又云丸物草鹿ヲモオリカケ串ニテモ射之

一又云丸物ト草鹿トハ土ヨリ上六寸ハカリニカケヘシ何モケ様ノ物ハ凡六寸之

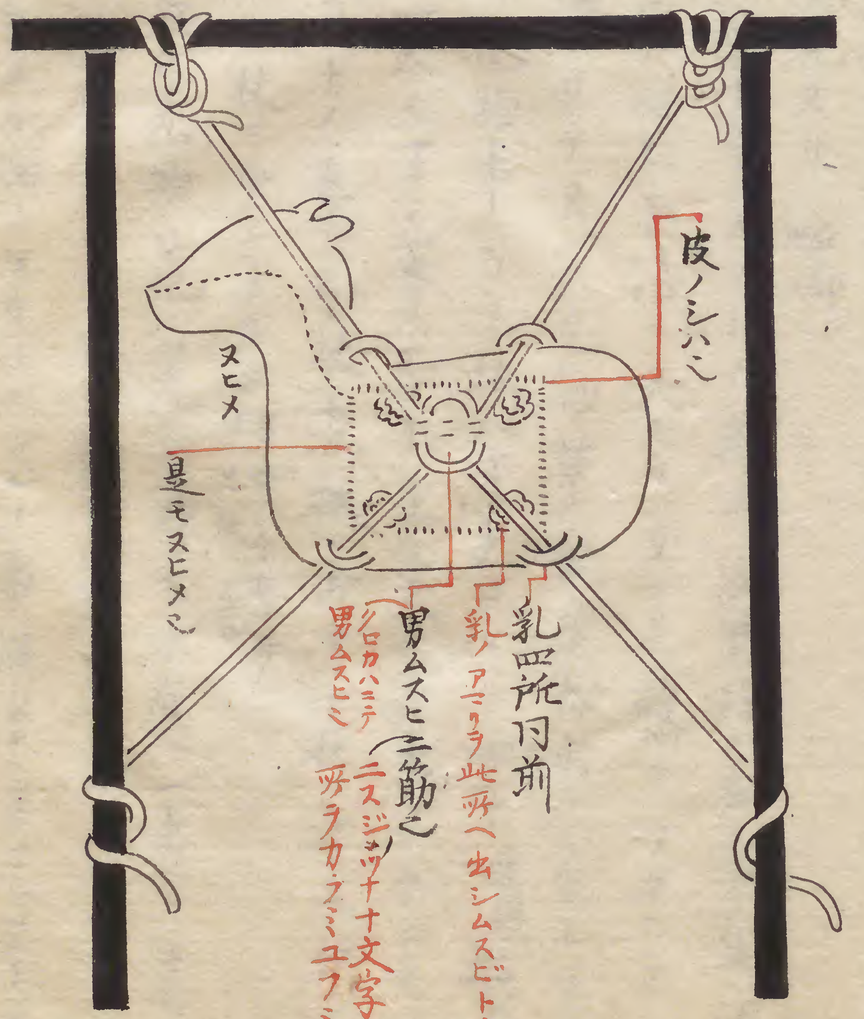
一又云草鹿丸物四目ニテ射此ハ乙矢ヲハ四目ノ方ヲ上ヘナシテ股ニヨセカケテ置也甲矢ヲ射之但筈ノ方ヲ上ヘナシテモ不苦矢頭モ大ナラハ如此モスヘシ

一弓馬三冊云草鹿此方ニテカクル之串ハ丸物串之星ノ数定ル之ウライタ有之目耳ノ内星フスベウツス之

弓馬三冊
草鹿之図



弓馬三冊
草鹿裏之図



〇一 圓物 射御持長記ニ一手神頭一手シメニテ草鹿丸物射ル事見タリ（谷部ニ記ス）

一 又云丸物ノ寸法事 アツチノ高サ 法量物ニ在之不及注 弓ハ的弓ニテノ射之赤漆ニ矢ズリカブラ藤ヲツカヒヌレ共白キ弦ヲカケスレハ丸物草鹿挟物射ニクルシカラス

一 法量物云丸物事 ウラ板八寸矢タマリ 四寸ニ連銭横串 五尺内法（タカハカリノ之ニ） 四尺三寸立串 土ヨリ上三尺七寸 串ノフトサ口一寸四分（異本ニ五分） アツチノ遠サ弓杖十一枚ニ立テ十枚ニ可立串ヨリアツチノ間一枚ニ少シチカシ（異本ニ十枚ニ立テ九枚ニ立ル）

一 高忠少書云丸物日記ニハ丸物射手ト有ヘシ事ノ字ハ犬追物手組事トナラデハ有マジキ也

一 圓的聞書云丸物ノアタリハヅレノ事 横ツナニタフレタル矢

カヽリテアラハ当ナルヘシカヽラスハハヅレ之的ノ下ヘタフレテ
ハズ共的ヨリ前ヘ筈出ハ弓ヲ以テ沙汰スヘシ笠懸ノ所
ノコトクニ沙汰スヘシ矢ハ的ニ当リテ神頭ニテモ亦篦中
ヨリオレテアツチナトニ当ラハタトヒ的ノ前ニモ又ツナニモ
オレガツナニモカヽレ其矢ハハヅレ之当リテ串ノ後ヘ矢行
テ的ノ前ヘ落ル↑有夫モアタリ成ヘシ草鹿同前ナリ
的ハ黒ク塗ヘシ　兵

一 又云丸物草鹿カケヤウノ事土ヨリ上六寸綱イツレモ
ホノマヽセナルヘシ草鹿ヲモ丸物ノ串ニ掛ルヘシ　兵

一 丸物ハ闌的ノコトク矢代フリテ射事クジ的聞玄ノ説
草鹿ノ部ニアリ見合スヘシ

一 闌的聞書云丸物草鹿ハクジ的ノ如ク射マジキ之キリ　限

ヲ定テ射ヘシ夜的ノコトクニ一五度定テ射之ソレ過テ又一五
度ト申テ射ヘシカヤウニイクタビモキリヲ定テ射ル之　濃

一 又云丸物草鹿ノアタリハヅレノ矢ノ沙汰ノ事ハ笠懸ノ所
ノ沙汰ノコトクニアルヘシ　濃

一 又云丸物草鹿一手四目ニテ射タル所ニ四目ノカシラ見ルト
云事有夫ハ射サゲテ的ノ下ヘ行タルヲミル之其所ハカシラ
ヲ見ズ目ノ中ヘスナニテモ又土ニテモ柴ノ葉ニテモ入タラハハ
ツレ之笠懸ノ三目シリ見ルト同事ナルヘシ猶ミ口傳有ヘシ　兵

立アガリ
一 又云丸物草鹿ブリ〳〵ノ射様ノ事矢代ヲフリテ小的ノ
コトクニ射ヘシ人数ハ不定ルカケモ小的ノ如クタルヘシ又人数
スクナキ所ハ矢代ヲ
ハ不定ルカケモ一ツヽモナラヘテフリ立アガリニ射ヘシ一ノ前ニ
射タル人ハ今度ハ我ト矢代ヲ取テ一ノ跡ニ置テ射ヘシ二

番ニ射タル人前ニテ射ヘシ次第〳〵ニ如此立アカリニ射ヘシ小的ノ時モ人数スクナキニハ如此射也立アガリト申時ハ如此スル也矢代ヲ羽ノスレヌ程ニ少ツヽ間ヲ置テ前ノ方ヘヨセテナラヘテ置也立アガリノ時ハ次第ニウシロヘ矢代ヨル也 刑

口伝云矢代ヲ二ツヽ組テフルハ上矢下矢ノ射手ヲ分ケ相手ヲ取ル為也矢代ヲ一ツヽナラヘテ置ケハ上矢下矢ヲ分ルニ及ハス只射ル次第ヲ定ル為ナリ只前後ヲ以テ相手トス是ヲ立アカリト云ナリ

一 小的丸物草鹿ブリ〳〵ノ勝負カキタヲシト云事有クジ的聞書ノ説小的ノ部ニ記ス

一 又云丸物草鹿射ル時人数ナドスクナキ時ハ矢代ヲ振ニ一宛ナラヘテ立上リニスル也又人数多時ニハクジ的ナドノ時ノコトクニ矢代ヲ振テノ射ヘシ 重テ濃州尋申ト

一 又云丸物草鹿矢音ノ事ヒヤウシト、申ヘシ一手神頭四目ニテノ射ヘシ矢音モ何モ同事也

一 又云丸物ノタフレ串マハリ綱ニカヽル矢ナト笠懸ノ矢同前也（矢沙汰也）沙汰ノ矢モ同事也

一 又云クジ丸物ト申ハ丸物ヲクジニ射ルヲ申也矢代ヲ振テ射ヘシ又丸物ヲ暮ニカヽリテノシロムルト申事有

一 又云丸物（矢沙汰スヘキ矢也此時ニ検見弓ノ持ヤウ也）ウチ矢弓ノ持様右ノ手ヲハウツムケテ左ノ手ヲアヲノケテ弓ヲ持也

一 又云丸物笠懸ノ的綱ヰノマセ本式也 口伝云白アサギ黒ヰマゼ三ツグリノ縄ナリ布也

一 又云丸物アツチニ子コガキカクル事ハ本式ノ儀ニテハナシハレノ時ハスマジキ事也 口伝云子コガキトハ子コダト云ムシロノコト也

一 又云丸物ナトノ時ニ一手四目ニテ射ハ子コガキヲアツチニカケテ射ヘシ又アツチモクツレナドスル時モ子コカキヲカケテ

射ル之

一 扇鏡云ハサミ物并草鹿丸物独弓ノ袮拜之

一 又云草鹿丸物カテ五ニテ射ル之

一 又云丸物草鹿ウラハ板之中ヘハヤハラカ鹿ノ毛ヲ入之

一 射鏡云正治之頃於鎌倉被射始也

一 又云夫圓物者遠笠懸ノ爪情ヲ以テ初心ノ人ニ矢所ヲシラシメンガ為之然間矢ノ沙汰ニ於テハ別テノ子細ナシ他家ニハイカナル矢ノ沙汰アリト云トモ当家ニテハサノミ沙汰スヘ事ナシ 貞丈云当家トハ小笠原備前入道無元ミツカラ云詞ナリ

一 又云丸物ヲ三度弓ニ射ル貼ノ次ガ御的ノ如クナルヘシ三番三度弓ノ貼射手ノ人数ハ六人弓太郎アルヘシ立所モ御的ノ如ク成ヘシ矢ノタイハイモ無相

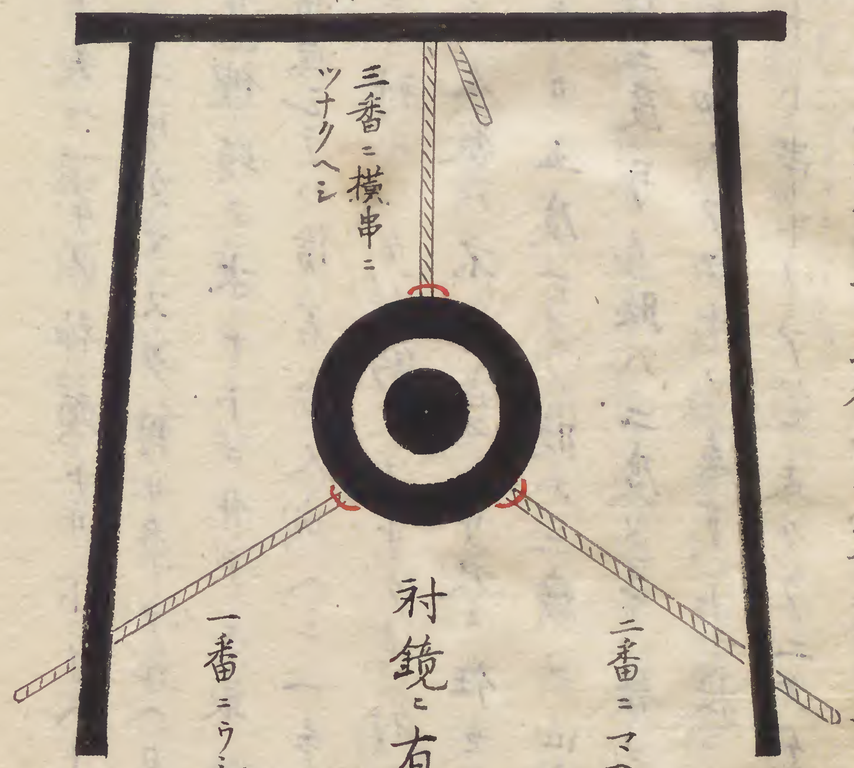
替事矢ハ一手ノ神頭ナリトイヘトモ是モ知人ナシ又知トイヘドモタヤスク用ル事アルヘカラス矢ノコシラヘヤウ神頭ノ木ナトニ付テモ最秘ノ大事ナル上常ニ用意シテハ傍若無人成ヘシ一手四目又神頭一手ニテノ射ヘシクジ的ノコトクモ射之又七所勝負モ射ヘシ人数ハ不可定常尺ニ任セテ人数以下相調ヘキカ五度弓ノ貼ハ二度メ四度メウシロヨリ可射三度弓ノ貼ハ二度メ斗後ヨリ可射

一 又云丸物ノアツチノ遠サ十一杖ニキテ十杖ニ可立アツチト串トノアハヒ矢タケ二タケヨリ少近カルヘシ

貞丈云丸物ノ形ハ丸キ玉ヲ二ツニフリタルコトシサレハ矢正面ノ真中ニアタレハ矢直ニ真中ノ通リニ落ル是中リ之的ニ

中ルトイヘ𪜈ソバツラニアタレバ矢ワキヘナグレル之是ハ中リニナラ
ヌナリ勝負ノ𪜈ハ前後ノ串通リヨリ内ニ落ル矢ヲバ中リト
スル之串通リヨリ外ヘ落レハハヅレナリ

本書ニ後串ヨリモ猶ウシロノ方ニ矢執ノ立所トアリ



射鏡ニ有之図也

一 又云丸物ノ法量ノ事丸物勢八寸レンセンノ白ミ一寸斗矢タマリ四寸チノ長サユビニフセ横串五尺内ノリ四尺三寸立串土ヨリ上三尺七寸土ニ打入分一尺二寸斗串ノフトサ口一寸四分檜木ニテノスヘシ丸クスヘシサテ黒クヌルヘシ土ニ入ル分ハ八角ナルヘシ

一 又云アツチノ高サ三尺九寸横四尺八寸両ノワキノ廣サ三尺五寸ツヽ之上ノ横ハ六寸ハカリマハリニ可築アマリスハレハアツチノナリ形ワロシ大方此方ニテ見テヨキ様ニ可拵

一 又云的ノウシロアツチノキハヨリ的ノ前弓杖一枚斗石モマシラヌコズナヲアツヽヽトシクヘシ

一 又云矢サタノ事的ニアタリテ其矢タフレテ本串ヲマ

エタレハハヅレ矢之的ニ中リテ其矢綱ニカヽリテ落タリトモ
矢ハヅサモ本串ノ通リ掛ル様ニ見エハ可レ中ナル二分三分
モハズソノ通リニカヽラズハ不レ可レ中ルタトヒ又矢筈本串
ニカヽリカヽラス見エタリ𪜈矢トリ心得スシテ後ヨリ
其矢ヲ執タラハ外レ成ヘシ前ヨリ執タラハ中リニテアルヘ
シ然ハ矢ノ取様大事ナル故ニ能々見御テ矢ヲ執ラスヘシ
矢執ノ心得肝要タルヘシ縄ニアタリタル矢ナト用ル了ユメヽ
不可有矢ノイツ方ヘモ落タレハソレヲカイフレテルトイフヘ
シ 此外矢汲決ノ事并図諸書ニミヘタリ

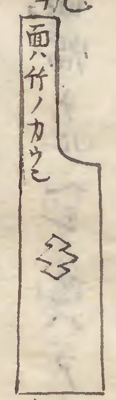
一 又云丸物ノカケ様ノ吏的桶ノ蓋ニ置テ持テ可出置様
ハ的ヲウツフセテ置テ扱縄ヲ的ノウラニワゲテ可置的ヲ
カクル貼ハ初桶ノフタヲハトリテ左右ノ手ニテカヽヘテツ

ナカセヘシ後ノツナヲ能々ツナキテノチ的ヲイダキオコ
シテ前ノ縄ヲツナガセテ前後ノ縄的ヲヨク中ニ置テツヨ
ク川ハリテイダキオコシテ上ノ縄ヲツナク貼川ハリテツナ
クヘシカクテコソ下六寸ニナリテ縄モハリヌレハ上ノ縄ハ三ア
ハセノアサノコサシナハシ緋ニ染ヘシ何モ的ツナク人ツノ縄ヲ
可執カヽヘル人ハワケテ持事也

一 又云丸物革（布皮𪜈云）布ノ事 革布ハ四ヨ幅ノナルヘシ色ハアサキタルヘ
シ上ヲハ袴ノスソノコトクニヌヒテソノクヽリノウチヨリヨコ
串ヲ指入ヘシ下ヲバクヽリヌヒニシテ細キ縄ヲ川トフシ其
縄ノアマリヲ布革ノ串ニ二マトヒマトヒテ其縄ヲ的カケ
タル串ニ二マトヒシテ結トムヘシ縄ノフトサハ的カケ縄ノ
フトサ程成ヘシ革布ノ上ノヌヒメカラ八寸サゲテドヂ革

アルヘシ其華ハ弓袋ノトチ華ノヤウニスヘシ三所ニ有ヘシ串ヲハ竹ニテスヘシ同ハ根ホリ竹可然串ハ的串ヨリ長サ矢タケラキテ可定横串四尺六寸内ノリハ四尺二寸立串ハ土ヨリ上三尺八寸土ニ入分一尺二寸フトサ口一寸二分斗華布ノアル丸物ヲハカチ笠掛ト云之

一　又云闈如此七所勝負ノ貼可執



長四寸六分
鷹計ノ芝

竹ニテ削ヘシウラヲハ必丸メテ黒クヌルヘシ筈ハクジシ的ト同シククジノ長サモ円蓟　右射鏡ト云ヨリ是迄丸物ノ昏之奥ニ応永廿一年七月廿日小笠原備前入道與元判ト有巻ノ初ニ丸物条々事ト有テ其下ニ正治ノ頃於鎌倉被射始ト有小実ニ云タリ

一　法量物異本云丸物ノ串竹ニテノ折掛ル様蓟ノ串ヲハ上ニナシテノ通スヘシ後ノ串ヲハ下ニナシ中ニテ切之扨細キ方ナハニテノ三所結之

一　又云丸物ノ勢裏扱八寸矢タマリ四寸レンセンノ義之

但レンセントハ白ミヲ云黒ハホシト云

一　弓馬故実云大的ノ串ハ白カルヘシ丸物串ハ黒クヌル之）高忠ガ云同之

一　弓法秘傳聞書云丸物射ル貼ハ一手神頭又ハ一手四目ニテ射之其貼ハ片矢ヲ羽ノ方ヲ右ノヒザニヨセカケテ置テ扨兄矢ヲ可射之

一　弓法私昏云丸物ヲカケル貼ハ横串ノ通リレンセンヲ上ヘナシテノウラ扱ヲ土ニ付テノ置ヘシ丸物ヲハ土ノ上六寸ニ懸ル之

一　弓法私書ニ丸物矢波法ノ図多ク見エタリ今畧之

一　又云丸物ノ縄ヲハ黒白アサキ三色ニテ三ツクリニ幸之布ヲ二色ニ染之（黒アサギ二色之）

一　又云丸物ヲハカクルアグルサグルト云之五尺二寸ノ的草鹿モ申様円蓟

一　又云丸物ノ串ヲハ蓟ノ串ヨリ立ヘシ

一　又云丸物ノ串ハ黒クヌルヘシ笠掛ノ串円蓟大的ノ串ハ白シ

一　弓馬三冊云丸物ノ事ウラ扱八寸矢タマリ四寸レンセンノ一

一ナリ法量物ノト云日记ニハフスベタル分共ニ白ミヲカケテ四寸ナリ

弓馬三冊丸物ノ図

一又云丸物ノウラ一尺二寸カ子ノ定ニモスル之矢ダマリハ式ノ丸物八寸ノ如クタルヘシ但一尺二寸ニスル畧義之丸物式ノ寸法八寸ノ下ハナシ寸ニモシテ可射之定レル寸ナシ八寸ノ半分四寸ニ定ル丁アリ矢タマリモ三寸之

一又云丸物ノアタリハツレ見ニクキ物之然间一段勝負ナド又ハ晴ナル职杯ハクハシク存知ノ者ヲ丸物ノ近所ニ置テ見スル物之敷皮杯ヲ敷テ矢落ニテ見ル事其例多有所ニヨルヘキトハイヘ圧大方在所前弓ノ者ノ方ニ串ヨリ五杖モ弓立ノ方ニ可居之

一弓馬三冊ニ丸物矢汳ノ汰仕様ノ図色〻有今畧之

一小的事云丸物ヲモ二度メ四度メヲハウシロヨリ射始ヘシ 矢丈云後 弓ヨリ射ハシムル之 但カ子テ三度トモ五度トモ射ベキト定ズハ二度メ

ヲモ四度メヲモ前ヨリ射始ヘシ サレハカ子テヨリ幾度ヲ何トモ定テ可射之 但此義ハイハレサルト云儀アリ 只度数ヲサタメテノ射カ本式之 クジ的ナトノヤウニハ射ヘカラス 度ガ過テ猶射シトオモハヾ又度数ヲ定メ射ヘシ

ツナ留様

一 又云丸物串ヲハ前ノ串ヨリ立ハシムル事之 的ハ笠掛ノ如ク掛ヘシ 串ハイカニモスグニ立ヘシ 串ヲ立時ハ横串ヲ地ニシカト置テ立串二ノ間ヲ横串ノ廣サ程先程ノ串ヲ立定テ後ウシロ串ヲ立ヘシ 先前ノ串ニ横綱ヲトメテ其後ウシロノ串ニトメテ扨立綱ヲトメヘシ トメ様ハ何モ前ヨリ廻シテ其綱ニ掛テノウシロヘ廻シテ串ニテ巻トムル之 又草鹿ハ立綱二ヲ廿間ヲノヒロケテノシカト巻テトムル之 此外丸物ノ事 草鹿ノ部ニアリ見合スヘシ

○一 ブリ〱 闡的聞書云 ブリ〱ハ本式ナキ物之 畧義ノヿナリ 丸物ノ串ニカケテ射ル之 六寸ヨリハ少高クカクヘシ 濃

一 丸物草鹿ブリ〱ノ射様 闡的聞書ノ説 丸物ノ部ニ記ス

一 小的丸物草鹿ブリ〱ノ勝負ニカキタラシト云事有 闡的聞書ノ説 小的ノ部ニシルス

一 高忠聞書別記云 ブリ〱寸法ナシ カヤウニカケテ射ル之 ブリ〱串ノ内法ヲマハル時ハナヲシ射ヘシ

一 又云アツチト串トノ間近キ時ハ矢ノ事 波汰ハ有マシキ之ト仰ハサキツマリ

カヤウニナシテブリ〱ヲバカクル之 此矢ニハ波汰アルマシクハ

タラハ矢ハズ的ノ前ハ射ツヘキ间定ルサタハアルヘカラスト
仰ル

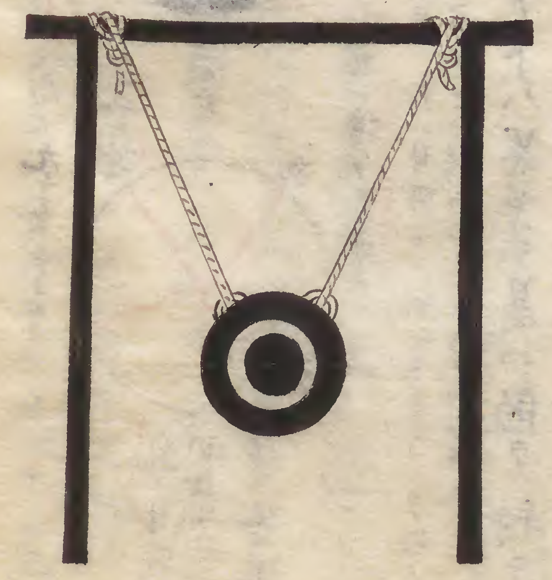
一 上賢抶云ブリ〳〵ト云テ丸物ナトヨリモチイサク的ヲバ円丸物ノ如ク〳〵リテ射ル事有是ハ寸法定ラズ縄ノ付様ハ上ニ乳二アルヘシツレヨリ的縄ヲ付テ横串ニカケヘシ横綱ハナク上ニ斗リカクル也矢ニアタリテ横串ノ内ノリヲクル〳〵トマトフ事アリソレヲハ的ヲ立シテ又射ル也此的ニ沙汰スル矢ナドハナキ也是ハ中古ノ人ノシイダシタル義也射ヤウナドモ丸物ナドノ如シ的ノ寸法的ノカケ様法式アルヘカラス但イツレモ土ノ上ハ六寸ノ物也
然ハブリ〳〵モ円如クニカケヘシ 矢文云ブリ〳〵モ丸物ノ形ノゴトク丸キ玉ヲ二ツニワリタルゴトシサレハ矢奥中ニアタレバ的トビ上リテ横串ニクル〳〵ト綱巻キ付ク也ソバツラニアタレハ的トビ上ラズ横串ニマキツカズシテクル〳〵ト舞フ也 奥中ニアタリテ横串ニ巻ク数多キヲ勝トスル也

一 弓馬三冊云ブリ〳〵根本ヨリナキ物也射ヤウブリ〳〵ノコシラヘヤウ不定但丸物ノコトク也

一 又云是ハブリ〳〵之的ノ寸ハ三四寸ノ間ナルヘシ不定然ﾄﾓ サホド大キニハナキ也

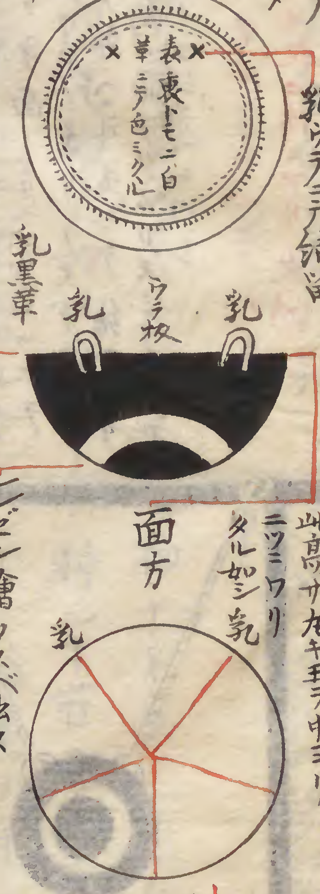
一 弓馬三冊ブリ〳〵ノ図也
矢文云 的ノ乳ヲウラ板ノ方ニワナヲ引出シテ射レハ的ノ面ウツムキテ悪シ的ノワキハテノ方ウラ板ヨリ七分斗面ノ方ヘヨセテワナヲ出シソノワナノ余リヲスヂカヘニウラ板ノ外ヘ引出シテ結ヘシ如此スレハ的ノ面ウツムカスシテヨシ揺テ丸物ノコシラヘニ同シ

串ノ寸法ハタカバカリノ定也八廻日把口傳ニアリ 大的ノ部ニ記ス



右三図貞丈私ニ加之

ブリくノウラ
ノクヽリヌヒタ
ル兇
丸物ウラ
クヽリヤウモ
同之乳ハウ
ラニワナアリ



一 笠掛矢沙汰記云ブリく ナトハ累義之 是ハ的ヲ射テ綱
ノマトフヲ勝負ニ射ル之 精兵ハマトヒ数オホク有ヘシ是
ヲ賞翫スルニ別成子細ナシ

○一 挟物 （貞丈云スヘテ串ニハサミテ立テ射ルヲ中物トモ云） 射御拾遺抄云ハサミ物トヱハ何ニテモ串ニハ
サミテ射物ヲ云之 然ﾄﾓ先ハ方四寸ノ（杉ニカギラズ檜ニテモ用）杉板ノ両ノ端ヲ
キサミテ射ヲ云之（カンナカケハヲシキニ）カナカケ小オシキ 同前 タトヒ又ア
タリタリﾄﾓワレテ落ズシテ髪筋ホドモカヽリタラバ
ハヅレ成ヘシ 同串モハサミ物ノ内ノ串ニアタリタルハ
ヨシ挟物ノ外ニアタリタランハハヅレ成ヘシ 貞丈云此四寸四方ノ板ヲ挟タルヲ式
ノ挟物トヱカンナカケ小オシキ
ナトヲ切テコシラユルハ四半トヱ

一 射御持長記云（貞丈云是ハハサミ物ノ本体之貫ヘシ）ハサミ物ノ事 方四寸ノ板ヲ二所キザミ
テ切目ヲ前ノ下ヘナシテ串ハワリタル所ヲウラヲ長ク
向ヲハ短ク切テスミヲハサミテ土ノ上四寸ニ立六寸ニモ立
ナリ遠サノホド七杖ニオイテ杖半ニ立ヘキ之 丸物ノアツ
サナラハ（丸物ノ串ヲ云）串ノ下ニ可立之（同上）串ナクハアツチニソヘテ立ツベ

シ其所ハ土ヨリ上一六寸 貞丈云丸物ノアツチナラハト云ハ丸物射テ後ニハサミモノ射ル所ノヿ也 ○四寸ノオシキトハ非也 四寸ノ板ト改ヘシ八寸ノオシキヲ四ツニ切タヲ四半トイフマギレヤスキヿナリ

一又云アタリハツレノ事真中ニアタリテハサミモノワレタルトイフ氏糸ホドモカヽリテワレノカズハハツレ成ヘシ

一又云（貞丈云是四半ノ本説也貴ヘシ）四半ト云ハウスキオシキノフチヲ取テ四ニワリテ一ツヲ立ル也四半ト云也貴人四半ヲ立ヨト仰アラハ是ヲ可立ハサミ物立ヨト仰アラハ方四寸ノ板ヲ可立也 貞丈云方四寸ノ板厚サ三分斗ナルヲウラノ方ノ両ノハシノ中ヲ表ヘミエヌヤウニ三角ニキサミメヲ付ル此キザミメノ所ヨリワレルタメニシタル也是ヲ式ノ挟物ト云也又ソサウニ作タルウス板ノオシキノ八寸四方ナルヲ十文字ニ切レハ四寸四方ニナル是ハウスキ板ナルユヘ裏ニキザミメ作ルニ及サル也是ヲ四半ト云也式ノハサミモノヽ略ナリ

一又云串ニアタル矢ノ事 四半挟物立テ後ニ串ヲ射ヿアリハサミ物立ル通リニアタリタル矢ハ誠ノアタリ成ヘシ土トハサミ物ノ間ニアタリタル矢ハハヅレ成ヘシ

一高忠聞書云ハサミ物射ル所モ日記アリハサミ物射手ト斗有ヘシ

一扇鏡云ハサミ物并草鹿丸物楊弓ノ祚拝也

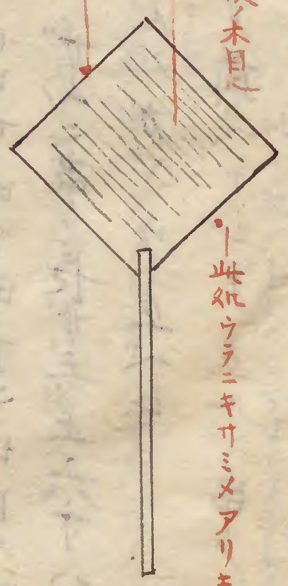
一又云四半トハ大小ヲ云ハズコガクヲ四ニ切テ立ルヲ云ナリ 貞丈云コカクハ折敷ナリ小角ハ三寸四方ノ折敷也コカクト本文ニアルハ折敷トアルヘキノアヤマリナルヘシ

挟物串

一高忠聞書別記云串ハ木ニテモ竹ニテモスル也只藤(タウ)ガヨキ物ト仰ル也

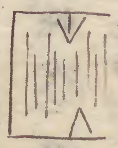
一又云ハサミ物立事 ヒロサ四寸四方也切目ハ前ノ下ナルヘシ板目ヲ二所キザム也串ノ長サ土ノ上一六寸ハサミキハヽホドラヒヲミテハサム也カヤウニ立ベシ
此コトクイタメヲ前ヘナシテ立ル也串ノ長サ一六寸タヾレツチノウヘ也土ノ下何ホトモスル也

一 四ハシノ事ハサミ物ヲ四ニキリテ板目ヲキサミツケテ立ヘシ
串ノ長サモタテ様モアタリハツレモ挟物ト同事也 貞丈云ハサミ物ヲ四寸ニ切トハ折敷ヲ四ニ切ノ云遠ナルヘシ又キサミ付テノテノ字ニゴリテヨムヘシ式ノ挟物ト云ハ新ニ四寸四方ニ檜ノ木ノ板ヲ削テ作リタルヲ云此式ノ挟物ハ板厚サ三分斗モアルユヘウラニキザミメヲ付ルワレヤスキ為ニスル也四半ハ式ノハサミ物ノ略ニテ八寸ノオシキヲ十文字ニ四ツニ切テ立ル也コレハ板ウスキユヘ裏ニキザミメヲ付ルニ不及故四半モハサミ物ナレ氏式ノハサミ物トハ差別有古書ニモ差別ヲ立テズ記シタルモ有マギレ安キ事ナルユヘ能々分別ヲシテ心得ヘシ式ノ挟物ハ檜ノ板ニテモ松板ニテモスル也何ニテモスヘテ串ニ挟ミ立ルハ挟物ナルユヘ四寸四方ノ板ヲ立ルヲ式ノ挟物ト云是本式ナルユヘ也丈ヲ略シテトリアヘズ折敷ヲ四ニ切テ立ルヲ四半ト云也



串

一 又云ハサミ物ノアタリハツレノ事マン中ニアタリタリ氏少モカミリタラバアタリナルヘカラス板目ヲキザムハハヤクカヽサンカ為也少シニテモカケタラハアタリニテノアルヘシ 貞丈云キザムトハ表ヘミヘヌヤウニウラヲキサムナリ


如此中ヲフカクキサムナリ

一 又云的串アラン所ニテハサミ物立ル時ハ串ノマン中ニ立ル也串ナクハアツチニソヘテ立ル也 貞丈云的串トハ大的串ヲ指テ置也 此段ハ弓場ニテハサミ物イル時ノ事ヲ云也

一 弓場故実云挟物ト云事板ヲ挟テ射ル也檜也昔ハ四寸四方ニテ有シナリ乍去夫ハ餘チヒサキ間今ハ八寸四方ニシテ立ル也四半ト云ハ四寸四方也是モ昔ハ四寸四方ヲ二ツニ切タル物也 貞丈云乍去ト云ヨリ以下古法ノ変シタル也如此変シタル故四半ノイモ又変シタル也何レモ式正ノ挟物并四半ニハアラス式ノハサミ物并四半ノ本式ハ前ニ記シタル射御持長記ヲ用ヘシ此条ノ説ハ用ヘカラス異説ナリ

一 又云挟物ノ串ニスル木ノ事檜也挟物モ同シ

一 又云串ノ長サノ事一尺二寸斗也土ヨリ上ヲ六寸ニ立ヘシ

一 又云演除ナトニテ挟物射ルニ串ナキ時ノ事別ニ仕様トテハナシ

一 又云的串ノアラン所ニテ挟物立ル事別条ナシソノマヽ置トテモ取ノケテモ立ヘシ本串ヨリ前ヘヨセテ立ヘシ

一 又云挟物アタリハツレノ事タトヒアタリテ射ヌキタリトモワレ子バアタリニナラズ然間ハタヲキサムモワラセンガ為ニ矢取心得テ射ヌキタル矢ヲヌキサマニオシワリテ矢ヲヌク様ニ取ル物ナリ

一 射手方聞書云カナカケニテモウスオシキニテモ串ニハサミテ立ルニハスヂカヘニ角ヲハサミテノ土トハサミ物トノ間六寸之土ヘイカホト入トモイカホドハサミ物ヲ串ニハサムトモ法量ハナキ之ハサミ物ノ板目ノ方ヲ両方ヲ少ツヽキサム之此次ニ四半ト申ハイカホトナル物ニテ候哉ト尋申侍リシニ不知ト之其故ハ何ヲ四ツニ切ト申法量ノ物ナケレハ何物ヲサシテ四半ハイカ程ノ物ト申ヘキソト也 矢丈云此条ハサミ物四半ノ事本説ニアラス前ニ記タル射御持長記ニ見タルカモムキハ本説ナリ弓馬故実ニ見タル如ク弐ノ挟物四寸四方ハ小キトテ八寸四方ニシテ立ハジメタルヨリシテマギラハシクナリテ四半モツマヒラカナラズヤウニナリ来リシ之 ○又云カナ掛トハカンナカケノオシキニカンナヲカケテウツクシクケヅリタルニウスオシキト云ハヘギオシキ之板ヲヘギタルマヽニテケヅラズシテウス板ニテ作リタルソサウナルオシキノ事ナリ

一 弓馬聞書云ハサミ物ノ事貴人ナドハサミ物ヲタテヨト被仰バカンナカケヲフチヲトリテ立ヘシ方四寸ノ板本之 矢丈云カンナカケノフチヲハナシテ其侭立ルハ本式ノハサミ物ニアラス依之下ニ方四寸ノ板本之トコトハリタルナリ方四寸ノ板ハ余リチイサキトテ後ニ八寸四方ニシテ立ルト弓馬故実ニ有是カンナカケノ大サナリ畧委ナリ 両方ニキザミヲツクヘシ切目前ノ下ニナルヘキ之串ハ木ニテモ竹ニテモスヘシ拵テ（シテ長サ之）一尺二寸ノ物之地ノ上六寸ニ立ヘシ 矢丈云ハサミ物并四半ノ事射御持長記ノ趣本説ナリ其外ハ違之

串

一 又云貴人主人ナト四半ヲタテヨト仰アラハウスオシキヲ四ツニ切テ立ヘシ串モキザミ所モ皆ハサミ物ニ同シ事之

貞丈云此条相違ナシ但板ウスキ上ヘキザムニ不及之

一 又云ハサミ物ナドニハアタリハヅレ有イカニヨクアタリタリトモワレテノカズ髪スジ程モカヽリタラバハヅレ成ヘシ

一 法量物異本云挟物ノ事小折敷ノ切目ヲ前ノ下ヘナシテ立ヘシ折敷ノフチヲバ取ヘシ両方ノ板目ノ中程ヨリ少キザムニ串（大的ノ串ヲ云）アラハ串ノ通リニ立ヘシ串ナクハアヅチノ際ニ立ヘシ串ノ高サ六寸斗ニ立ロ本ハ四寸ノ板ナルヘシ 貞丈云本ハ四寸ノ板ナルヘシト云ヲ以テ小折敷ハ式ノ挟物ノ畧ナルヿヲ知ヘシ本式ノ挟物ト云ハ折敷ニアラスアタラシク板ヲ四寸四方ニ切テ立ルヿ折敷ヲ立始シヨリ四半ノヿ紛ラハシク成タリ

一 書札并雑々聞書云挟物ノ事中角（チウカク）ヲ切メヲ前ヘナシテスミヲハサミ立ル之串ハヒツリギニシテ高キ方ヲウシロニナシテハサミ立ル之串タケ六七寸 貞丈云中角トイフハ八寸四方ノオシキニ是又式ノハサミ物ニアラス本式ハ四寸四方ノ板之

一 又云四半ト云事ハ中角ヲ四ニ切テ立ル之串モ高サモ六七寸之 貞丈云四半ノ事前ニ云コトシ

一 弓法秘傳聞書云挟物ハ七枚串ノ頭ケンサキニスルナリ 貞丈云串ノカシラスヂカヒニソギテ高キ方ヲ少斗カヘシカヲスレハケンサキノ如シ 四半カンナカケ四ツニ切之九半ハ九ツニ切之挟物ノ肚ハカンナカケノフチヲ取リ立ヘシ 貞丈云是モ前ニ云如ク式ノ挟物ニアラス折敷ヲ立ルハ畧ノ挟物之 又ハサミ物ノ肚ハ串キハヲキザミ（串ヨリ之）ヨリニテ結ヘシ又四半ノ肚ハ串ヲ立中ヲ通シヨリニテ結ヒ付ル之何レモ挟物ハ神頭ニテ射ヘシ

一 弓法私書云板ノ挟物ノアタリハヅレノ事真中ニアタルトモ髪スジ程モカヽリテ落ズハハヅレ之髪スジ程モカケテ土ニ落ルハアタリ之 板目ヲキサム事此タメ之

一 又云挟物ノ遠サ七枚枚半之 枚半ト申ハ一枚ノ半分ノ義之
貞丈云ハヅも弓ニテ射之
一 又云ハサミ物立ル事廣サ四寸之 貞丈云式ノ挟物之四寸四方ノ板ナリ 立ル所ハ切目
ヲ前ノ下ヘナシテ立ヘシ 板目ハウシロノ下ヘ成ヘシ キザミ
所ハ板目両方ナガラキザム之 板目ノ真中ノ通リヲキザム
ベシキザム心ハ矢アタリレハ早クカヘサン為ニ串ノ長
サ土ノ上六寸之 ハサミ際裡ヲ井ヲ又合テ可レ挟法量ナ
シ 串ハ竹ニテモスヘシ ハサム方ノサキヲウツソギ 板ワリ
カケテ挟ムヘシ凡一寸斗ハサムヘシ 指シテ式々ノハサミ物
ノ串ニハ藤ヲスヘシ 法量物ニ委シクアリ 貞丈云法量物ニハナシ
一 又云四半ノ事以前ノ夾物ヲ 四ツニ切テ一ツヲ四半ト申
ナリ 是モ立様ハサミ物同前之

一 又云九半トハ夾物ヲ九ツニ切タルヲ九半ト申トアリ立様同
前 貞丈云右四半九半ノ事以前ノ夾物トアルハ非之以前ノ二字ヲ中角ノ折敷ノ五字ニ改ヘシ諸家多ク ハサミ物ノ式ト畧トヲ混雑スル故其ヨリシテ四半九半ノ事正カラス 射御持長記ノ説ハ正説ナリ
一 弓馬三冊云 ハサミ物トハ総名之 木草ノ葉又ハ何ノ花ニ
テモアレ花貝ノカラ皆鼻紙風情ノ物ヲ串ニテハサミ
テ立ハ挟物タルヘシ 挟物ノ本ハ小笠懸ノ的ト可心得
一 又云ハサミ物ヲ四寸四方ニ定ラル、イハレハ昔ウス折敷ヲ
立テ射初タリ 昔ノウス折敷 四寸四方タルニヨリテ夾物
ノ寸四寸四方ニ定ラル、也 貞丈云四寸四方ノ板ハ式ノ夾物之 昔ノウス折シキ四寸四方タリト云ハ非之 是ヲ立テ射初シト云モ非之 本四寸四方ニ板ヲ切テハサミシ之 ソレヲ畧シテ八寸四方ノ折シキヲ十文字ニ四ツニ切テ其一ツヲ立ルヲ四半ト云之 持長記ス所本説之
一 又云四半ト云ハ挟物ヲ四ニワリタルヲ云 夾物ヲ四ニ切レハ二寸四方
ナリ 是四半ノ本ニ二寸四方ヨリ大キナルヲモ小キヲモ 四半ト

（朱書）ナヽツヘ ツヘナカ
（朱書）土下ノ義モ法量ナシ
（朱書）式ノハサミ物ヲ云

云マシキ事也四半ヲモ両方ヲ少キザミテ挟物ノ如ク立ベシ
矢丈云此条ノ四半ノ説モ正説ニ非ス前ニ云コトシ持長ノ記ノ説ヲ正説トスヘシ

一 又云挟物ニアタリタル矢ノ事　タトヒ何トアタリタル𪜈ワレハナレテ地ヘオチタラハアタリ也又何トアタリタリ𪜈ワレハナレズハアタリニテノアルマシキ也少モカヽラデワレテノキタラバアタリ也少モカヽラバハヅレニテアルベシナマ板ナドハワレハナレズシテカヽル事アリ　タトヒ二三ニワレテ地ニツク事アリ𪜈ワレハレハナレズハヅレ也但挟タル串ノ上ナドニアタリタル矢ハワレ子ドモ中リ也挟タル串ノ上ハ三重也ソレハフレ子ドモアタリテ跡ダニアラバアタリニテ有ベシ両方ノハシノキザミタル所ナド少カケタリ𪜈ハナレバアタリタルベシ両方ノ切目ニアタリテワレハセデ少カケタルモアタリ也タトヘハ挟物ノナカニマガハズアタリタリ𪜈矢トビカヘラバハヅレ也大的小的同ジ事也

○一 衬御拾遺抄云木ノ葉立ル事 根本カシハノ葉ヲ立テ 衬ソメタ
リ何ノ葉ニテモ クキヲハサミテ面ヲ衬ル様ニ立ヘシ又皆ヲ
立ル事 皆ノミセヲ土ノ方ヘナシテヒロゲテカウバリノコトク
串ヲ中ヘ入テ立之又皆ノハナヲ上ヘナシテキビスノ方ヲハサ
ミテ立モアリ 何モ矢トコロ皆ノウラ成ヘシ何ニテモ皆ノ中
ヘオシコミテ衬ル之 又アハビ貝ヲ立ルモミノカタヲ面ニナシ
テ可立又ハナガミ立ル事モ有リ。キリメヲ前ノ下ヘナシテ
立ル之（公方ノ御紋）桐ノ葉指シテ衬ヘカラス又人ノモンニスル草木ノ葉ヲ
ハ其人ノ前ニテハ立マジキ之

一 衬御持長記云木ノ葉草ノ葉イツレモ面ヲ向ケテ葉サキ
ヲソラヘ成テクキヲハサミ可立之（其坐ニ在人ノ紋之）人ノ紋ニアル草木ノ葉ヲハ
不可立近代ハカシハノ葉ヲモ立ヌ由申ナラハセリ 殊更（公方ノ御紋之）桐ノ葉ハ
ユメ〳〵立ヘカラズ

一 又云蚫貝蛤貝ノミノ方ヲ面ヘ向テウスキ方ヲ串ニハサミテ
チト串ヲタハメテ衬ヨゲニ立之尤浦バタテ可立之也
山ニテハ木ノ葉岸ノ下ナドニ可立之野ニテハ草ノ葉
ヲ可立若カヤ原ナト高キ所ニテハ草葉ノ末ヨリ上
六寸ニ串ヲ長クシテ可立之土ノ准知之庭ニテハ木
ノ葉草ノ葉何ニテモゆヘ可立之

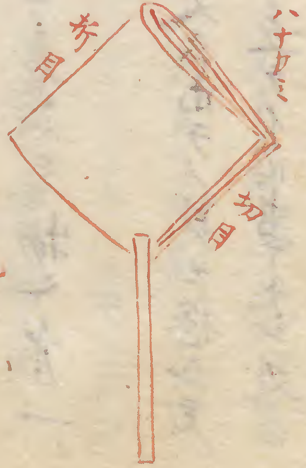
一 又云皆ヲ立ル事見セヲ下ヘ成テキビスヲ上ヘ成テ
ウラヲ衬様ニ可立之又皆ノ中ヘ串ヲ入テ是モ見セ
ヲ下ヘキビスヲ上ヘウラヲ衬様ニ可立之皆ノ見セト
云ハクツノサキノシハノヨリタル所ヲ云之

扇
一 又云扇ヲ立事地ヨリ一尺六寸ニ串ヲシテ二三间

ヒロゲテ立之扇ノ紙ヲハ射ヌ事之カナメヨリ手一束
ノ内ヲ射事之）厂股ニテ射ル本之又串モナクテカナメ
キハ二寸土（入テ立之）神頭ニテ射ニホ子ノ間ヘ入タル
矢ハハヅレ之骨ニアタル矢ハアタリ之扇ヲ立ル事モ大
ナル秘事之サルニヨッテ無左右口傳有ヘカラズ

一（タヽウカミトモ云 アトコロガミトモ云）ハナカミヲ立ル事四ニ（折ヤウアリ）折ハ四半ニ円シ切目前ノ下ヘ成テ
可立（四方ニキラズ ツノマヽモ立ル之）何レモ切目ヲ前ノ下ヘ可成串
ハハサミ物ニ円シアタリハヅレハハタニアタリテ矢トホ
レハハヅレ之中ニモ能アタリヌレハ、ハナ帋モニガミイス
ミ亀テモ行之又神頭ノサキニ土ヲ付テ射ニ、ハナ帋
ニ矢メアレハ、ハシナレトモアタリノ内ト云一説有

引合ノ紙タテニ二ツニ折又タテニ二ツニ折扨横ニ二ツニ折テ
四方ニ寸ヲトリ端ヲ切之折目ノ（ハナカミ）
方ハ切ラズ四寸四方ホドニナル是ヲ
射手タヽウカミト云ハナ紙トハ是之
常ノタヽウカミトハ折ヤウカハル也



一 又云カウカイヲ立ル事有アタリ所（前ニ串ヲイルヿ見タリ）串ニ同シ

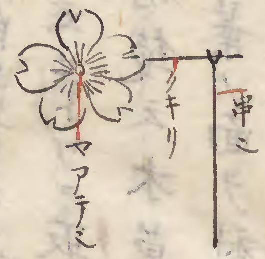
一 岡本記云タヽウカミ立テアル所アタリタルヲハ善悪
ツノマヽ引チラシテステヘシ然ハクシナドヲモオリテ
ステヘシ弟一ノ口傳之知人スクナシ可秘

一 又云ハツレタルヲ取ルハンスルトモ又ハコレモステルハンズ
ルトモコレハ主ノマヽタルヘシマコトニ子細知ル人スクナシ
可秘

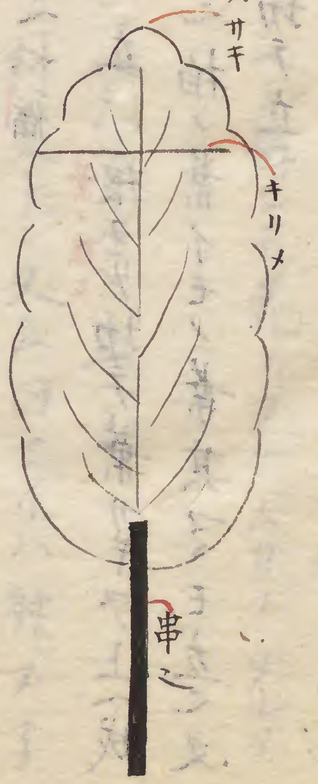
一 又云揺テ（ハナカミトモ云）タヽフカミ立ル所多キトテノクル事ナシ又

スクナキトテ、添事ノナシ折タルヲソノマヽ立ル迄之別テ
口傳可秘
一 又云ケイトウゲ（花）モタテヘシ何レモ花ノヨクムカフタルヲ
立ヘシ
一 又云テマリゲ（花）ヲモタテヘシソノマヽ立ヘシ
一 又云舟ノセイハ指シテ対叓ナシ又云円セイハ対ヌ子
細ノ事クハン音ノミクシヲ表シタル叓之マコトニ一段ノ
秘説世ヒスヘシ
一 又云舟ノカチナトハメアテノ物ニモイマシキ物之第一
ノ覚悟之
一 又云ニシノ貝指シテ立テイル事ナシ又云ホラノ貝モ指シテ
立テイル叓ナシ又云サヾイノ貝ヲモ立テイル事ナシ又云
ニシノ貝ホラノ貝サヾイ。カヤウノルイ叓イヌト云叓ハジンドウ
シメニテノカヤウノ物イル間損ル間立テ対ヌ叓之別テノ口
傳アリ
一 又云カシハノ葉ハイニシヘ立タル事有然トモ今ハ摩利支天ノ
御持物ニテル間サテ立テイヌ之別テノ子細条々口傳有之
一 闌的ツ書云ハサミ物ニ花ヲ立時チイサキ物ノ花ヲハ四
五モヒトツニ取テハサムヘシ 備
一 扇鏡云木草ノ葉ヲ立時（葉ノ根之）根ヨリ切テ葉サキヲ上ヘ成
テ葉ノ面ヲ対ル様ニ立之柏ノ葉イモノ葉其マヽモ立之又
葉サキト本ト両方ヲ切テ立之
一 高忠聞書云別記云櫻ノ花ヲ立事串ノ長サ何レモ同
事ナルヘシ花ノフサヲ矢アテニシテ花ノクキヲ串ノサ

キニワリテノ横サマニ挟ミテ立ル之是ハタヾアタリト見ヘタラハ
花ハタトヒ散ズトモアタリ成ヘシ



カヤウニ立テ射之

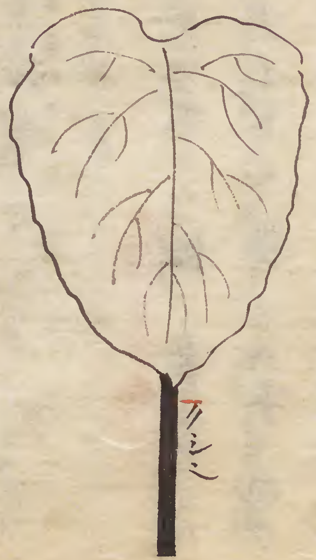


但ハサミ切ル之

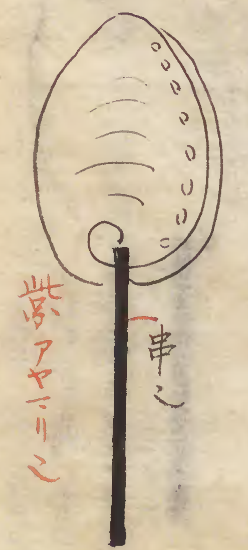
一 又云ホウカシ（和名抄厚朴 ホウカシワ）ハ立ル事矢アテニハ葉ノ面ヲ立ル之葉サキヲ上ニナシテ立ル之串ノ長サ同シ事之葉サキヲ切テクキノ方ヲ下ニナシテ立ヘシカヤウニ立ル之是ハアタリテタニアラハ葉ニキズツカズ共アタリ成ヘシ

一 又云ハナカミ立ル事串ノ長サ同事之切目ヲ以前ヘ下ニナシテ立ル之是ハアタリハアトツカストモアタリダニアラハアタリ成ヘシ
ハナカミノ折目内ヘモ外ヘモ定ラスト作ル

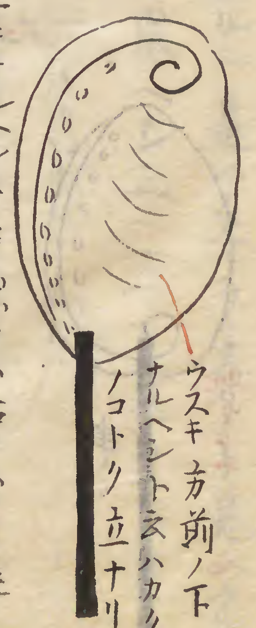
一 又云イモノ葉立ル事是モ串ノ長サ同物之矢アテニハ葉オモテノ方ヲ立ル之是ハクシニテモイモノ葉ノクキヲハサミテ葉サキヲサゲテノ立ル之葉サキ下ニナルヘシ
カヤウニ立ル之是モアタリハ同事之



一 又云アハビ貝立ル事カヒノウスキ方ヲクシニハサム之矢アテニ貝ノミノ入タルウチヲ矢アテニスル之貝ノウスキ方前ノ下ニナルヘシ

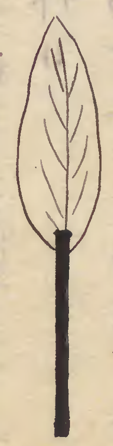


カヤウニ立之アタリハ是モ
同事之
クシノ長サカナシ事之
貞丈云 按ニ本文ニ貝ノウスキ方前ノ下ニナルヘシト有然ラハ右ノ図云違之
又貝ノフトキ方ヲ串ニハサムト有モ誤之 フトキ方ヲ夾ミテハウスキ方
前ノ下ヘハナラズソノ上フトキ方ハ串ヲハサマレヌ之 依之今絵図ヲ云改ル
ナリ 射御特長把ニモウスキ方ヲクシニ夾バサメテ射ヨゲニ立ルトアリ
前ニシルス
見合スヘシ

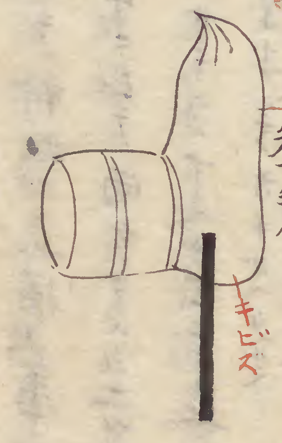


一 又云野山ニテ何ニテモタテヨトアラハ木ニハ桐ノ葉（将軍家御紋之）草ニハハチスノ葉（仏ヲ信スル故之）立テヌ事之 又シヤウブナドノ様ナル長キ物ヲハ葉ノスヘヲ切テステ長サ四寸ハカリモトノ方ヲハサミテ立ヘシ

野山ニテ串ニ取トシテ何ヲモスヘシ

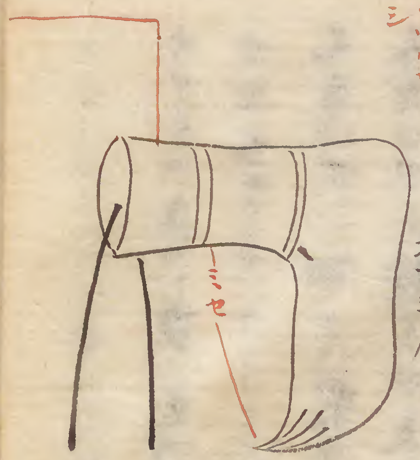


一 又云。小笠掛ナトノ的ノ代ニハ沓ヲ立ル之
（貞丈云遠字ナルヘシ）
（貞丈云是ハカチ立ノ挟物ニアラス然圧同類ナル故此処ニノセヲクナリ）



カヤウニ沓ノキビスノ方ヲ強キ竹ニテモ木ニテモ串ヲ削挟テ足ノウラヲヤアテニシテ沓ノハナヲ上ニナシテ立之 笠掛ノ的ノ代ニ立ル串ノ長サ一尺二寸ニスヘシ立様ハカヤウニ立ル之

一 又云。遠笠掛ノ的ノ代ニ沓ヲ立ル事 是モ沓ノウラヲ矢アテニシテキビスノ方ハ此取ハ上ヘナシテ沓ノハナヲ土ニ付テ沓ノ内ヘハ柴ニテモ又何ニテモ押込テ串ヲ二ツ削テ沓ノ中ヘ両ヘヘテスチカヘテ土ニ能サシテヲケハ沓ノハナト三ツカナワニ土ニツケテコロバヌ之
（貞丈云小字ナルヘシ）
（貞丈云右ニ同）



貞丈云カチダチノ夾物ニ沓ヲ立ルモ此

カヤウニ立ル之皆ノ中ヘ能ク串ヲ入テイカニモ強様ニ立ヘシ凡カ
ヤウナリ

通リニ前ニモ記タル射御
持長記ニ見エタリ

一 又云ハサミ物ニハ栗ノ葉ヲモ立ル之

一 又云ハサミ物イル矢ノ事ジンドウニテイル之

一 弓馬故実云皆立ル事タテアゲノキヒスノ方ヲ挟テ皆ノウ
ラノ矢面ニナル様ニツマサキ上ヘナシテ立ヘシ又馬ノ上ヨリサガ
リテ射所ニ立様ノ事 此所ハタテアケノ内ヘワラヲコミ竹ヲ
串ニシテ両方ヨリ二ツ中ヘ入テ是モ皆ノウラヲ射ル様ニツ
マサキヲ下ヘナシテ立之

矢文云馬ノ上ヨリサカリテ射トハ是小笠懸ノ
射ヤウ也是ヲ以按ニ前ノ皆ヲハサミタル所ニ違
ノ字少ノ字ノ云チガヘタル之
此条ノ本文ノ趣宜シキ也

一 又云櫻梅ナトノ花ヲ立事常ノ串ニハ横ニワル花ノ串ハ

タテニワリテ花ノ本ノクキヲ挟ミテ花ノ面ヲ矢面ヘナシテ
立ヘシ

一 又云イモノ葉立様是モ葉グキヲ挟テ立ル葉面ノ矢方モテ
ニ成様ニ立ヘシイモノ葉ニ限ラズサキヲ下ヘナシテ立ヘシ

一 又云柏ノ葉ノ立様コレモ葉面ヲ矢面ニナシ立ル之是ハ葉先
ヲ少切テ先ヲ上ヘナシテ立ヘシ串ハ横ニワルヘシ

一 クリノ葉ノ事カシワノ葉何モカヤウノ木ノ類ハ立ヘシ乍
去自然同道ノ人ノハカマ肩衣ノ紋ナト本ヨリ其所ニ居ラレル
主貴人ノ紋ナトハ用捨スヘシ

一 又云草ノ葉ナト立ル所萩ナドノ類ノ葉ノ餘長キヲハ先
ヲ切テノ本ヲ立ヘシ又薄ノ立様ソノマヽオノレナリニ生ナガ
ラノコシテ一本ノ内ヲモ葉トモニ切テ二ツ残シテ両ノ端

ヲ上ニテムスビテ中ヲ紂ル様ニ立ル之人シラヌ事之 結ヒ様
ハマムスビニシテ切ベシ中ヲ何程大ニムスフト云事ハ定
ラス 廻リニ薄多クハサアタリヲ切ノケテ一本キラリ
ト見ユル様ニ可立

一 又云立テ紂ヌ物ノ事 松ノ葉。柳ノ葉。桐ノ葉。菊ノ葉。花扇。ウチウ。榊。太刀。刀道具。又舟ノ梶ナドヲタテヌ之 文云扇ヲ紂サル
物ト云ヿ紂様秘事ナル姒
紂サル物ト云テ常ニ紂ヌナリ

一 又云木草ノ葉ニアタリハヅレノ事是ハタヽアタリタル
ガ中之別条ナシ

一 弓馬聞書云臯紙ナト立ル事アラハ四半ノ如ク立ヘ
キ之

一 又云木ノ葉草ノ葉ナト立ルヿアラハカヤウニ有ヘシ

串ハ挟物ニ同シ事之

一 又云人ノ攸ニ有木草ノ葉ノ事恐ニヨリ用捨有ヘキ之

一 又云臯紙ニハシカトアタリヲ知ヘキ為ニハジシトウノ
サキニ土ヲツケテ紂之 故実之可秘事之

一 又云タテヌ物ノ事 桐ノ葉。栢ノ葉。扇。カヒガラ。イモノ葉
ナトハ立マシキ之口傳有之

一 諸書当用抄云紂マジキ物ハ扇。ウチハ。トビ。カラス。サギ
鶴。コウ。石クナギ（セキレイノヿ之）。桐ノ葉之 文云トビカラスサギ雀コウ石クナギハハサミ物ノヿニアラス搖テノ
ヿナリ

一 法量物異本云臯紙ノ立様ハナ紙ノ切目ヲ折敷ノ
切目ノコトク下ヘナル様ニハサミテ立ヘシ

一 又云万ノ木葉ヲ立ルニ桐ノ葉ヲ立ス 搖テ人ノ家々ノ

紋ヲ不可立之

一 武雜記云疊帋ノ事鼻紙トモ疊紙トモ云之昔ハ五八カリ常ニ持之 貞丈云 タヽウ帋又フトコロ紙トモ云常ニ懐中ニ入テノハナヲカミ備用ニモツコフ之 タヽミヤウハ杉原一枚ヲ横ニ二ツニ折リ扨竪ニ二ツニ折又ソレヲタテニ三ツニ折之是ヲ五ツ斗〻〻如此入チガヘカサ子テフトコロニ入之是常ニ平日用ル疊紙之 其内射手ノタヽフ帋トテ必一ツアリ折テ紙ノハシヲ切ソロユル物之杉原ヲタテノサマニ四ツニオリ又ヨコニ二ツニ折四方ニキレハ大略ハサミ物ノ寸法ニナル自然主君御弓アソバサルヽ時タテサセラルヽ事有之其時ハキリメヲ前ノ下ヘナシテ立ル地ヨリ上クシノタケ六寸斗之 此外我ハナカミニ用ル 貞丈云此外ト云已下ハ常ノ疊帋ノヿ之 又人ノ所望ノ時用ルカレコレ五ハカリモ用意ルツル折マウ紙数モ有之 貞丈云常ノ疊紙ヲ云 公方様ヘモ進上ルソレハ引合ニテル寸法折様有之 貞丈云是ハ射手ノ疊帋ヲ云引合ハ紙廣キユヘ前ニ本文ニアルコトクタテニ四ツニ折テ横ニ二ツニ折ハシヲ切テ四寸ニスレハ大ニシテ四寸四方ホトニハナラズ引合ヲ杉原ホトニ切テ置テ前ノコトク折ヘシ

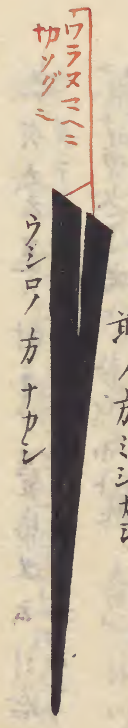
一 弓法私書ニ云鼻紙立ル事挾物ノ心得ナレハ紙ノ切目ヲ前下ヘナシテ立ル串ヨリ前是モハタトダニ矢音アラバ帋モ切レズアトモナク候アタリニテ有ヘシ

一 又云何ニテモ花ヲ立ル事花ノクキヲ串ニハサミ花ノフサヲ裏ヘナシテ立ル之此アタリハツレノ事ハバタトアタルト見エタラハタトヘ花ナト落ズトモアタリナルヘシ串ノ長サ同前

一 又云ホウガシハ其外木草ノ葉立ル事葉ノ表ヲ表ヘナシテ可立葉ノモトヲ一文字ニ切テ立ル之葉ノサキモ長クハツミ切テヨシホウガシハナドハ先ヲ切タルヨキ之串ハ

国立公文書館
National Archives of Japan

何モ円前是モ矢音ハタトアラバ切レ破レズトモアタリ
成ベシ野山ニテモ自然勝負ナドニ射ル時モ葉長ケレハ
先ヲ切テ葉本四寸斗ヲハサミテ立タルガヨシ
一 又云芋(イモ)ノ葉立ル事 射ル方ニ葉ノ表ヲ立ル之 葉先ヲ
バ切ラズシテ茎ノ方ヲ挾テ葉先ヲ下ヘサゲテ茎ノ方ヲ
上ヘナシテ立ル之 葉先ハ土ニアタル様ニ下ルヘシ 余ノ物立
ルニハ替之 此時ハ芋ノ葉大ナラハ串モ長クアルヘシ
一 又云鮑貝立ル事 貝ノ刃ノ方ヲ面ヘ立ル之 貝ノ曲リタル
方ヲ上ニ成テ貝ノウスキ方ノ細ミヲ串ニサスヘシ 串ハ夾
物ニ円前 イカニモ 立様円前



貞丈云ハサミモノ串ハ何ヲハサム
ニモ用之弓法秘傳多ニアリ

扇

一 弓長三冊云扇タテヽ射マジキ事タトヒ人ノシラデタツ
ルモ射マジキ之
一 又云鞭ヲ立テ射事ハナシ串ニ切テスル事ハアリ竹ノ
根モクマ柳モ切テ串ニスル之 是ハ自然浦濱ニテ串ナキ
時ノ義之
一 又云皆ノ立様ノ事 木草ノ葉又何ニテモアレ中ニオシ
コミテ皆ノハナヲ地ニ付テキビスノカタヲ上ヘナシテタテア
ゲヲヒロゲテ地ニオシアテヽ皆ノウラヲ射サスヘシ 竹ニテ
モ木ニテモクシ緒ヘサシコミタツル之 又皆ノハナヲ上ヘナシテ
キビスノ方ヲ下ヘナシテ皆ノウラヲ表ヘムケテ木ニテモ
竹ニテモワリカケテタテアケノ方ヲフカクトハサミテ地ヨ
リ上六寸ニ可立タツル様 此二ノナラテハ有マジキ之 必左

ノ皆ヲノ立ル之

一 又云ハサミ物ニカウガヒナド立テ射ヨト申サレバ貺ニヨリテ射之我ガヲタテヽ人ニイサスヘカラス 貞丈云我ガヲ立テ人ニイサスヘカラストハカラカイ ハホツキ物ニテアタリカタシアタリカタキ物ヲ立ルハ射手ニ難義ヲ申カクル心ニテノ無礼ナリ

一 又云足ニハク物ヲ立テノ射ルハ式ノ皆ハカリ之立様キヒスノ方ノ細キ所ヲハサミウラヲ射サスル之

扇

一 又云扇ヲ立ル事地ノ上一尺六寸ニ串ヲシテノ二三間ヒロゲテノ立ル紙ヲハ射ズカナメヨリ手一束ノ内ヲ射ルヿ之雁股本之又串モナクテハカナメギハ二三寸土ヘ入テ立ル之矢頭(ジンドウ)ニテノ射ルニホ子ノ間ヘ入タル矢ハハヅレ之ホ子ニアタルヲアタリトセリ扇ヲ立ル事モ射ル事モ大ナル秘事之仍左右ナク口傳アルヘカラズ 貞丈云扇ヲハサミ物ニ立テ射サルヿトハ扇ノ立ヤウモ射ヤウモ秘事ナルユヘ扇ハ立テ射サル物ト云ナラハシテ常ニハ射サル之

一 弓馬故実云貝蚫ノカラヲ立ル㕝内ノ方ヲ矢表ニナシテウスク細キ方ヲ挟テノ立ヘシ

一 大永聞書云野山ニテノ何ニテモタテヨト仰アリ𪜈木ニハ桐ノ葉タテヌ事之草ハイモノ葉タテヌ事之芋ノ葉搖シテタテヌニテノハナシタテヤウ大事之又アハビ貝立ヌ事之草ノハナラハスヱヲ切テステヽ長サ四寸ハカリニモトヲハサミテノ立ヘシ串ニハ何ヲモスヘシ野山ニテノハクルシカラス 貞丈云串木式ハ檜木四角ニ削ル図前ニアリ

天保十五年甲辰九月以矢野氏蔵書校合畢 千葉宗庸

大日本帝國圖書之印
日本政府圖書

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan